Kodak alaris

Kodak i4x50 シリーズスキャナー

コダック i4250 スキャナー
コダック i4650 スキャナー
コダック i4850 スキャナー

ユーザーズガイド



サードパーティライセンス

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group

Copyright (C)2009-2013 D. R. Commander. All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the libjpeg-turbo Project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS", AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

目次

目次 1

安全性について 3

1 概要 1

i4250、i4650、i4850 スキャナー 1
参考資料 1
アクセサリ 2
同梱品一覧 2
システム要件 2
スキャナーのコンポーネント 3
前面図 3
プリンタアクセスカバー内部 5
内部 6
背面図 7

2 インストール 9

スキャナーのインストール 9
ドライバソフトウェアのインストール - Windows 9
出力トレイの取り付け 9
電源コードとUSBケーブルの接続 10
スキャナーの電源をオンにする 11
スタンドアロンモード 11
スキャナーの電源をオフにする 12
電源モード 12

3 スキャン 13

スキャナーの準備 13
入力エレベータの調整 14
延長トレイの取り付け 16
出力トレイの調整、後部位置合わせ、機能向上版または最適なドキュメントハンドリング 16
原稿の先端揃えおよび通常のドキュメントハンドリング用に出力トレイの調整 18
背面排紙口の使用 18
原稿の準備 19
原稿のスキャン 20
スキャナーのスタート、停止、一時停止、および再開 20
[スタート/一時停止] ボタンを使用した簡易クリーニング 20
オペレータコントロールパネルの使用 21
[準備完了] 画面 22
ステータス領域 22
スマートタッチ 24
オペレータログの表示 24
スキャナー情報の表示 25
診断 25
印字テストの実行 25
カウントのみ 27
カウントのみ - 重送 28
パッチ検知テストの実行 29
重送検知キャリブレーションの実行 30
変更 30
設定画面 31
ユーザカウンタ 31
自動エレベータ 32
ホッチキス/金属防護 32
音量の変更 32

紙詰まりOCPコントロールの使用 33
重送検出またはホッチキス/金属保護の省略 34
アプリケーションオーバーライド 35
言語の選択 35
スキャン方法の選択 36
スキャン後の回転の設定 37
紙詰まり検出の設定 38
スキャナー速度の設定 39
重送原稿の検証 40
スキャンアプリケーションの選択 42

4 ドキュメントの印字 43
プリンタアクセサリ 43
プリンタの仕様 44
インクカートリッジの取り付け/交換 45
印字テストの実行 47
印字位置の変更 50
インクブロッタの取り付け/交換 51
問題解決 52

5 メンテナンス 53
章の概要 53
清掃頻度チャート 54
清掃用品 54
スキャナーカバーの開け方 55
清掃手順 55
出力トレイと入力エレベータの掃除 56
ローラの清掃 56
セパレーションローラタイヤの清掃 57
フィードモジュールタイヤの清掃 58
フリップ型ホワイトバックグラウンドストリップの清掃方法 58
イメージングガイドの清掃（基本） 59
イメージングガイドの清掃（完全） 60
トランスポートクリーニングシートによる清掃 61
清掃の最終手順 61
交換手順 62
フィードモジュール、フィードモジュールタイヤの交換手順 62
フィードモジュールの取り外し 62
フィード モジュール タイヤの交換 64
フィードモジュールの交換 65
セパレーションローラ、セパレーションローラタイヤの交換手順 65
プリセパレーションパッドの交換手順 66
イメージングガイドの交換手順 67
フリップ型ホワイトバックグラウンドストリップの交換方法 67
消耗品 68

6 トラブルシューティング 69
インジケータライト 69
ソフトウェアのアップグレード 69
サービスセンターへの問い合わせ 69

付録 A 規制に関する情報 71

付録 B 保証 - 米国、カナダ限定 73

安全性について

ユーザーへの注意事項

- スキャナーは 30.4 kg の重量に耐えられる安定した水平な場所に置き、スキャナーの周囲には十分なスペースを確保してください。
- スキャナーを移動する場合は、2 名でスキャナーを持ち上げて、安全な方法で運んでください。
- ほこりの多い場所や、湿気や蒸気のある場所にスキャナーを設置しないでください。感電や火災の原因になることがあります。スキャナーは必ず室内の湿気のない場所で使用してください。
- 電源コンセントがスキャナーから 1.52 m（5 フィート）以内にあり、簡単に接続できることを確認してください。
- 機器の電源ソケットを外すときは、コードではなくプラグを持ってください。
- 電源コードがコンセントにしっかり差し込まれていることを確認してください。しっかり接続されていないと、感電や火災の原因になることがあります。
- 電源コードを破損しないよう注意してください（結ぶ、切る、改造するなどの行為を含む）。また、破損した電源コードは使用しないでください。感電や火災の原因になることがあります。
- スキャナーは壁のコンセントに直接接続し、適切に接地してください。スキャナーに延長ケーブルや電源タップを使用しないでください。
- 電源コンセントの周辺には十分なスペースを設け、緊急時にすぐにプラグを外せるようにしてください。
- スキャナーが異常に熱い、異臭がする、煙が出る、異音がする場合は、使用を停止してください。スキャナーを即座に停止して、電源コードをコンセントから外し、サービスセンターに問い合わせてください。
- 部品の交換時は、スキャナーの電源を切ってください。『ユーザーズガイド』に記載された場合を除き、スキャナーを分解、修理または改造しないでください。
- 電源コードとインタフェースケーブルを接続したままでスキャナーを移動しないでください。電源コードとインタフェースケーブルが破損する場合があります。スキャナーを移動する前に、電源コードをコンセントから抜いてください。
- Kodak Alaris が推奨するスキャナの清掃手順に従います。エアー、液体、ガススプレークリーナを使用しないでください。これらのクリーナは、ほこり、汚れ、ゴミをスキャナー内の別の場所に移動させ、スキャナーの故障の原因となる可能性があります。
- 化学製品の安全データシート（SDS）は、次の Kodak Alaris のウェブサイトで入手できます：www.kodakalaris.com/go/ehs ウェブサイトから SDS にアクセスする場合、消耗品のカタログ番号を提示する必要があります。消耗品とカタログ番号については、このガイドの「アクセサリと消耗品」を参照してください。

ユーザーやその管理者は、機械を操作するにあたり、常識的な注意を払う必要があります。注意事項として以下のものが含まれますが、これらに限定されません）。

- 過度にゆったりした服装を避け、袖口のボタンは外さないようにしてください。
- 外れやすいアクセサリ、ブレスレット、大きな指輪、長いネックレスなどは身に付けないようにしてください。
- 髪の毛は、必要に応じてヘアネットを使用するか、長い髪は束ねるなどして、短くまとめます。
- 機械の周辺にある、引き込まれそうな物はすべて取り除きます。
- 時折十分な休憩を取って、集中力を保つようにします。
- 推奨する清掃用品以外は使用しないでください。
- スプレーや圧縮空気は使用しないでください。

業務監督者は、スキャナーまたはその他の機械の操作に関するルールに、上記のような予防措置を含めるようお願いします。

警告ラベル



注意：可動部品。触らないでください。



注意：高温。触らないでください。

このデバイスは、ビジュアルディスプレイのある作業環境において、直接的な視界内での使用を対象としていません。使用環境において不快な反射を防ぐために、この装置は直接視界に入らないようにしてください。

環境に関する情報

- *Kodak* i4250、i4650 および i4850 スキャナーは、世界各国の環境要件に対応できるよう設計されています。
- メンテナンスまたはサービス時に交換した消耗品の廃棄についてはガイドラインを参照してください。詳細については、地域の規定に従うか最寄の Kodak Alaris 代理店にお問い合わせください。
- この機器の廃棄は、環境への配慮から規制されている場合があります。廃棄またはリサイクルの詳細については、地域の自治体にお問い合わせください（米国の場合は www.kodakalaris.com/go/scannerrecycling
- 製品パッケージはリサイクル可能です。
- Kodaki 4000 シリーズスキャナーは国際エネルギースタープログラムに適合しており、出荷時にはスリープモードへの移行時間が 15 分に設定されています。

ヨーロッパ連合（EU）



このマークは、この製品を廃棄する際に、回収とリサイクルを行う適切な施設への送付が義務付けられていることを表します。本製品の収集 / 回収プログラムの詳細については、最寄りの Kodak Alaris 代理店にお問い合わせください。または、kodakalaris.com/go/scannerrecycling を参照してください。

REACH 規則（(EC) No. 1907/2006）第 59（1）条の対照リストに含まれる物質に関する情報については、www.kodakalaris.com/go/REACH を参照してください。

騒音

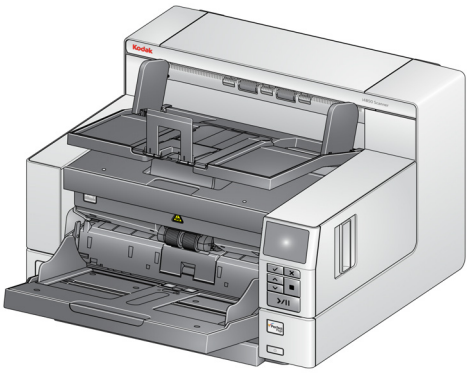
Maschinenlärminformationsverordnung – 3, GSGV
Der arbeitsplatzbezogene Emissionswert beträgt <70 dB(A).

[騒音規制 ー 3、GSGV
操作者位置の騒音は 70 dB（A）未満。]

1 概要

i4250、i4650、i4850 スキャナー

この『ユーザーズガイド』では、*Kodak* i4250、i4650、i4850 スキャナーの使用および保守の情報と手順について説明します。特段の記載がない限り、本ガイドに記載されている情報は全モデルに該当します。



***Kodak* i4250 スキャナー** — レターサイズ原稿を最大毎分 110 枚（200/300 dpi、白黒 / カラー / グレースケール、横方向）処理するデスクトップ用両面カラースキャナーです。

***Kodak* i4650 スキャナー** — レターサイズ原稿を最大毎分 145 枚（200/300 dpi、白黒 / グレースケール / カラー、A4 横送り）処理するデスクトップ用両面カラースキャナーです。

***Kodak* i4850 スキャナー** — レターサイズ原稿を最大毎分 160 枚（200/300dpi、白黒 / グレースケール / カラー、A4 横送り）処理するデスクトップ用両面カラースキャナーです。

参考資料

この『ユーザーズガイド』のほか、下記の資料も用意されています。

- **インストールガイド** — スキャナーの設置を手順ごとに説明します。
- **スキャンセットアップガイド** — *Kodak* i4250/i4650/i4850 スキャナーには TWAIN データソースおよび ISIS ドライバが同梱されています。各スキャンセットアップガイドでは、基本的なイメージ処理機能の使用方法を説明します。いずれのガイドも、インストール CD に PDF ファイルで収録されています。ガイドは Web サイトからもダウンロード可能です。
- **スマートタッチユーザーズガイド** — スマートタッチ機能の使用方法に関する情報と手順について記載しています。このガイドは、インストール CD に PDF ファイルで収録されています。ガイドは Web サイトからもダウンロード可能です。
- **リファレンス ガイド** — スキャナーを清掃する手順を図解で示します。このガイドはスキャナーのそばに置いて、いつでも参照できるようにしてください。

Web サイト：www.AlarisWorld.com/go/IM

アクセサリ

***Kodak* プリンタアクセサリ —** *Kodak* プリンタアクセサリを使用すると、スキャンした原稿に情報を効果的に印字できます。プリンタは、スキャナーの最高速度で印字可能です。印字内容として、日付、時刻、原稿カウンタ値、固定文字列を使用できます。プリンタの制御および機能はすべて TWAIN データソースまたは ISIS ドライバから設定できます。

延長トレイ — 延長トレイは 43.2 cm 以上の原稿をスキャンするときに使用します。また、66.04 cm、76.2 cm および 86.36 cm の長さに対応しています。

***Kodak* 薄紙専用フィーダキット** — 紙厚 25g/m^2 ～ 80 g/m^2（7 ～ 20 ポンド）の軽量紙を給紙できます。薄紙専用フィーダキットには、スキャナ搬送部に軽量紙を給紙できるように特別に設計されたフィードモジュールとセパレーションローラがあります。

***Kodak* A3 フラットベッドアクセサリ —** *Kodak* A3 フラットベッドにより、*Kodak* i4250、i4650 または i4850 シリーズスキャナーを使って、11 x 17 インチ（A3）までの規格外のドキュメントをスキャンできるようになります。

同梱品一覧

梱包品内容の確認

- *Kodak* i4250、i4650 または i4850 スキャナー
- 出力トレイ
- 原稿のスタック用ダングラー 3 種類
- フィードとセパレーションタイヤ
- プリセパレーションパッド
- 搬送路 クリーナー シート
- クリーニングパッド
- USB 3.0 ケーブル
- AC 電源コード
- 次の物品が入ったフォルダ
  - インストール CD
  - 保証 / 登録シート
  - 印刷版リファレンスガイド
  - インストールガイド
  - その他のパンフレット

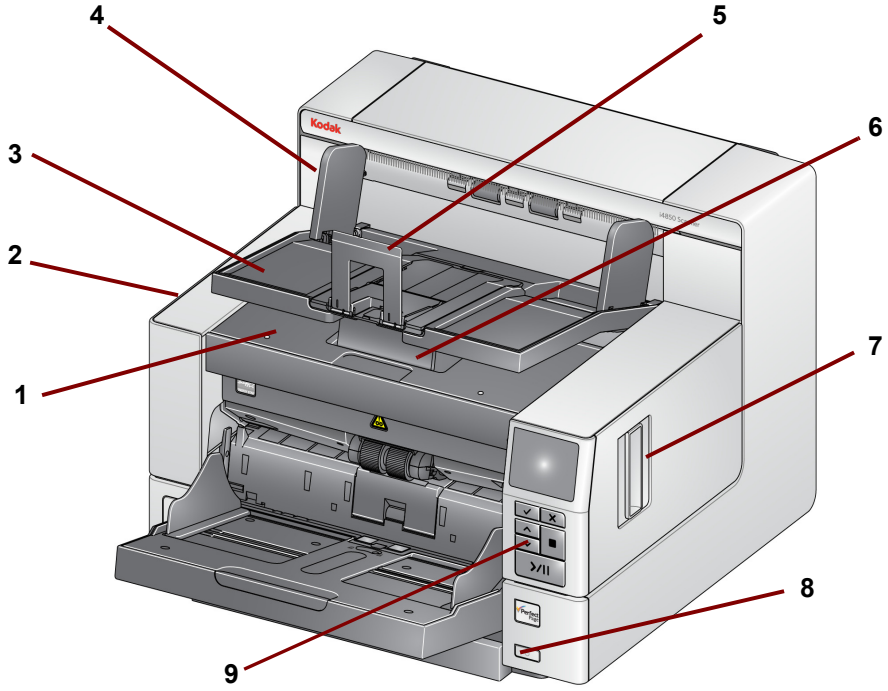
システム要件

i4000 スキャナーの推奨 PC 構成に関する最新情報については、当社 Web サイトの仕様を確認してください。

www.AlarisWorld.com/go/i4000

スキャナーのコンポーネント

前面図



1 **プリンタアクセスカバー** — このカバーを開くと、フィードモジュールリリースノブの使用や、プリンタの位置の変更とメンテナンスが行えます。スキャナーのシリアル番号とKナンバーもその付近に記載されています。

2 **スキャナーカバー** — このカバーを開いて内部コンポーネントにアクセスします。

3 **出力トレイ** — スキャン済みの原稿を収納します。

4 **出力トレイのサイドガイド** — 原稿のサイズに合わせて内側や外側に動かしたり、折りたたむことができます。

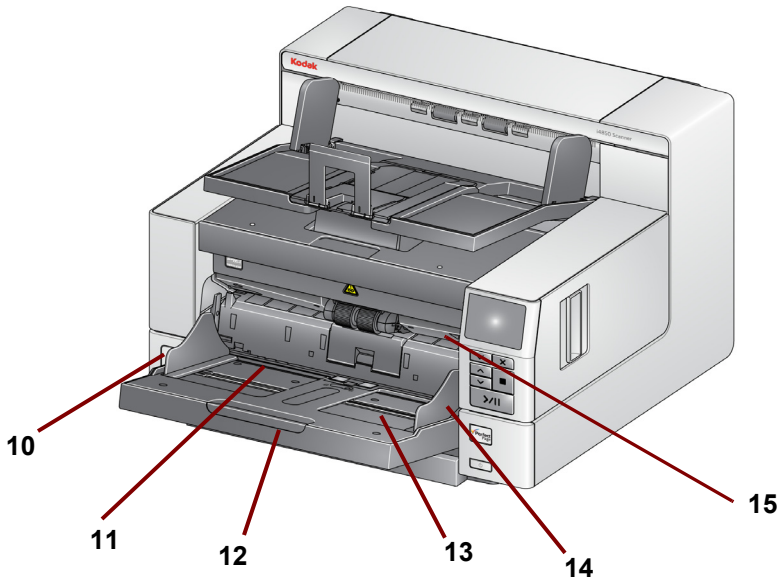
5 **原稿ストッパー** — 原稿がまとめやすくなります。このストッパーはスキャンする原稿のサイズに合わせて前後に動かしたり、折りたたむことができます。

6 **出力トレイの高さ調節タブ** — スキャンするときに、このタブを使用して出力トレイの前を持ち上げると、スムーズにスキャンできます。出力トレイを持ち上げると、このタブは自動的に外れてプリンタアクセスカバーに収まります。

7 **スキャナーカバーリリースラッチ —** レバーを手前に引くと、スキャナーカバーが開きます。

8 **[電源] ボタン** — このボタンを押すとスキャナーの電源が入り、1 秒間押し続けると電源が切れます。

9 **オペレータコントロールパネル** — スキャナーのステータス情報表示やドキュメントハンドリング機能の使用が可能です。オペレータコントロールパネルのボタンでスキャナー操作を実行できます。ボタンの説明については、第 3 章「オペレータコントロールパネルの使用」を参照してください。



10 **ギャップリリース切り替えスイッチ** — 特別な処理を必要とする原稿をスキャンする場合、このスイッチを押して、フィードモジュールとセパレータモジュール間のギャップを調節します。

11 **印字位置インジケータ** — 入力エレベータの端にある、用紙の印字位置を示す印です。

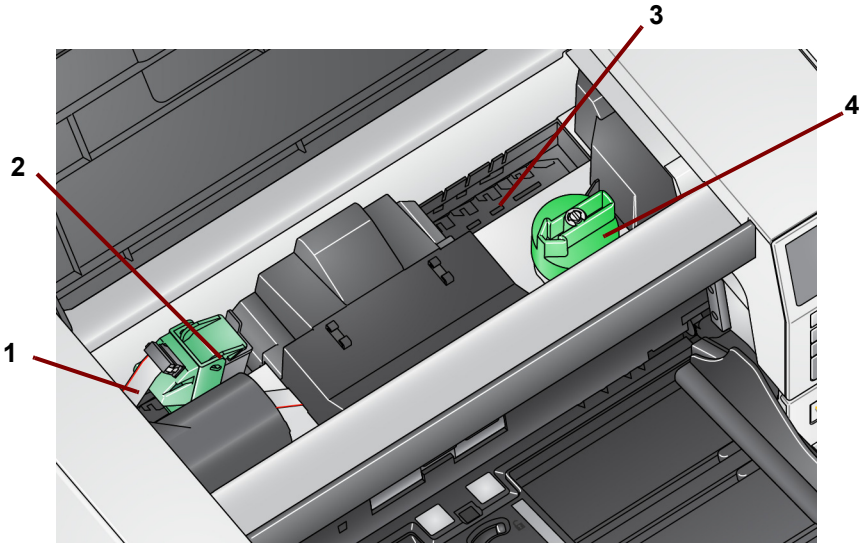
12 **入力エレベータエクステンション** — このエクステンションを引き出すと、27.9 cm 以上の長さの原稿をセットできます。

13 **入力トレイ** — 最大 500 枚までの原稿をセットできます（20 lb / 80 g/m^2）。入力エレベータにセットする原稿の枚数は、25 枚、100 枚、250 枚、500 枚から選択できます。使用していないときは折りたたむことができます。

14 **入力エレベータのサイドガイド** — スキャンする原稿のサイズに合わせて、ガイドを内側または外側にスライドします。サイドガイドは、原稿の幅に合わせて、左側、中央、右側に調整できます。サイドガイドを最適な位置でロックすることもできます。

15 **フィードモジュールリリースレバー** — フィードモジュールを清掃、交換する場合、このレバーを右に押してモジュールを取り外します。このリリースレバーを使用する場合、スキャナーのカバーを開ける必要があります。

プリンタアクセスカバー内部



1 **プリンタケーブル** — このケーブルをインクカートリッジホルダに接続すると、プリンタと通信が行えます。

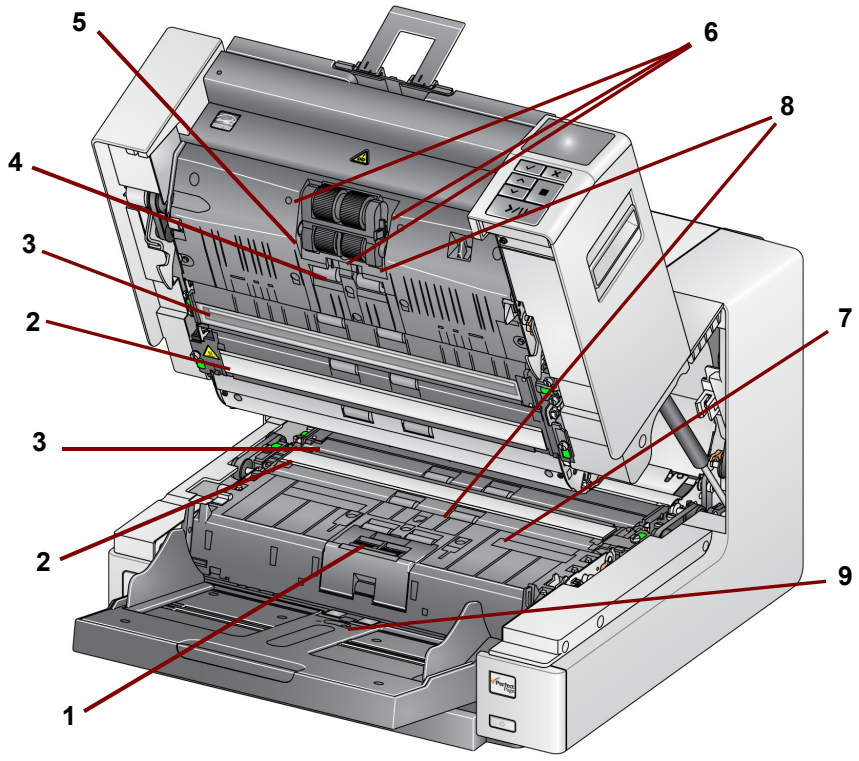
2 **インクカートリッジホルダ / カートリッジ** — 原稿の表面へ印字する場合に使用します。*プリンタアクセサリを取り付け時に使用できます。*

3 **印字位置** — 8 ヶ所の印字位置が用意されています。

4 **フィードモジュールリリースノブ** — このノブを回すと、フィードモジュールを取り外して清掃や交換ができます。リリースノブの矢印は、フィードモジュールの取り付け時は左向き、取り外し時には右向きになります。

内部

スキャナーカバーのリリースラッチを手前に引くと、以下のコンポーネントが確認できます。



1 **セパレーションローラ** — さまざまなサイズ、厚さ、素材の原稿の給紙と分離をスムーズにします。

2 **黒 / 白の背景** — スキャンアプリケーションを使用して、背景を白または黒に変更できます。通常のスキャンの設定では、黒い背景が使用されます。片面印刷の薄い用紙をスキャンする場合、最終イメージのにじみをなくするには、白い背景を使用することをお勧めします。詳細は、『スキャンセットアップガイド - TWAIN データソース /ISIS ドライバ』を参照してください。

3 **イメージングガイド** — イメージ品質を最適に保つために、イメージングガイドは定期的にクリーニングしてください。

4 **ローラ** — スキャナー内で原稿をスムーズに搬送する役割を果たします。

5 **フィードモジュール** — さまざまなサイズ、厚さ、素材の原稿の給紙と分離をスムーズにします。

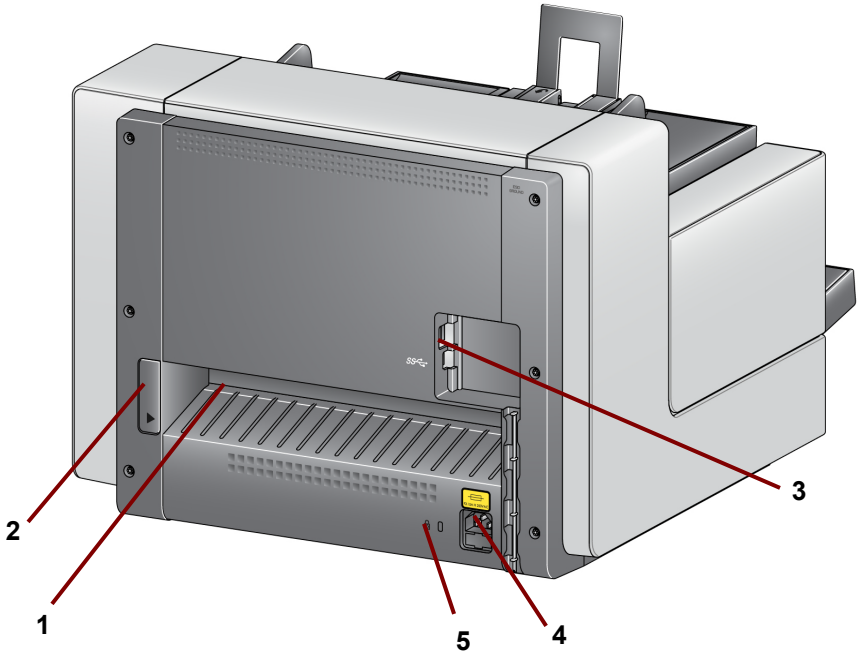
6 **インテリジェントな原稿保護センサー** — 原稿の破損を防ぐサウンドセンサーです（例：原稿が搬送されてくると、スキャナは原稿が巻き込まれる音を検出するなど）。

7 **インクブロッタチャネルとインクブロッタ** — オプションのプリンタアクセサリから漏れたインクは、インクブロッタに吸収されます。

8 **センサー** — 3ヶ所の超音波センサで原稿の重送を検出します。

9 **用紙センサ** — 入力エレベータにセットした原稿を検知します。スキャンを開始するには、原稿がこのセンサーを覆っている必要があります。

背面図



1 **背面排紙口** — 特別な処理を必要とする原稿をスキャナーの背面から排紙します。

2 **背面排紙切り替えスイッチ** — このスイッチを切り替えると、スキャナーの搬送路がストレートパスになり、背面排紙口から原稿が排紙されます。

3 **USB ポート** — スキャナーを PC へ接続します。

4 **電源ポート** — 電源コードをスキャナーに接続します。

5 **セキュリティロックポート** — セキュリティロックをスキャナーに接続します。標準的なセキュリティロックは、事務用品店などでご購入ください。取り付け手順は、セキュリティロックに付属の手順書を参照してください。

2 インストール

スキャナーのインストール

このセクションでは、スキャナーに付属の *『インストールガイド』* の詳細について説明します。手順を順番に実行して、スキャナーを設置します。

注記：

- 『インストールガイド』のすべての手順を実行済みの場合、このセクションをスキップしてください。
- 背面排紙口を使用する場合、スキャナーを設置時に、スキャナーの後部に十分な空間を確保するよう注意してください。背面排紙口の詳細については、第 3 章の「背面排紙口の使用」のセクションをご参照ください。

ドライバソフトウェアのインストール - *Windows*

ドライバソフトウェアをインストールする前に、USB ケーブルを接続しないでください。

1. *Kodak* i4250、i4650、i4850 スキャナーインストールディスクをディスクドライブに挿入します。インストールプログラムが自動的に起動します。

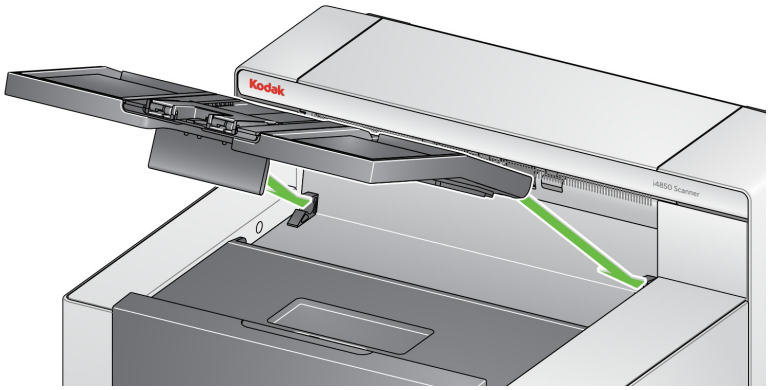
   注意： ディスクが自動的に起動しない場合は、デスクトップの [マイ コンピュータ] アイコンを開き、ディスクドライブのアイコンをダブルクリックし、**setup.exe** をダブルクリックします。

2. インストールが完了するまで表示されるプロンプトに従います。

出力トレイの取り付け

スキャナーの梱包箱には、出力トレイが入った箱が同梱されています。

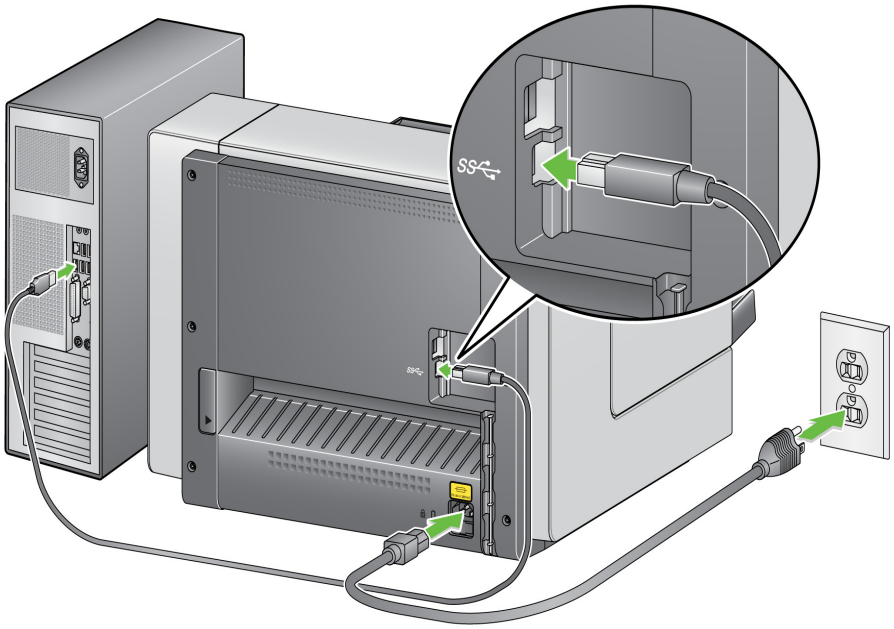
- スキャナーの出力トレイ用の溝を確認し、出力トレイを溝に合わせて正しく取り付けます。



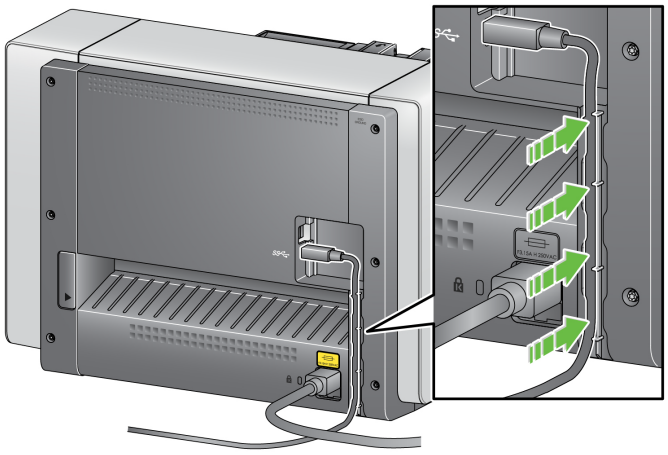
電源コードと USB ケーブルの接続

ドライバをインストールしたら、電源コードとスキャナーの USB ケーブルを接続します。以下の図を参照して、正しく接続します。電源コンセントがスキャナーから 1.52 m 以内にあり、簡単に接続できることを確認してください。

1. スキャナーに同梱されている AC 電源コードから、PSE マークの刻印が入った電源コードを選択します。
2. 出力電源コードをスキャナーの電源ポートに接続します。しっかりと接続していることを確認してください。
3. 電源コードのプラグを壁のコンセントに差し込みます。
4. USB ケーブルをスキャナーの USB ポートに接続します。
5. ケーブルのもう一方の端をコンピュータのスーパースピード「SS」ポートに接続します。このポートが使用できない場合は、USB ポートを使用します。

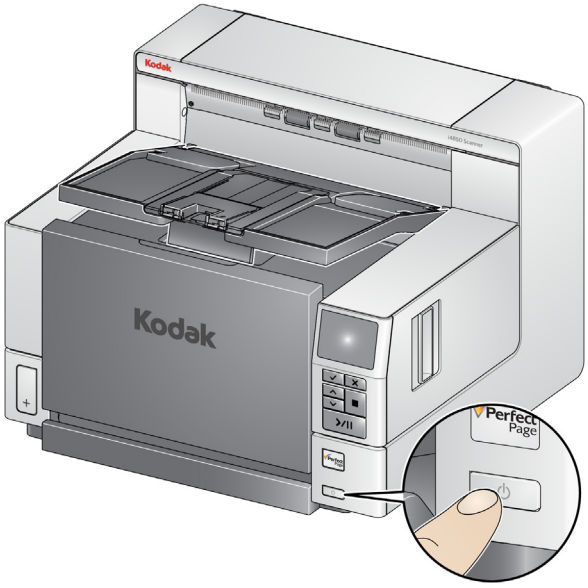


6. USB ケーブルをスキャナー背面のケーブル配線チャネルに固定します。



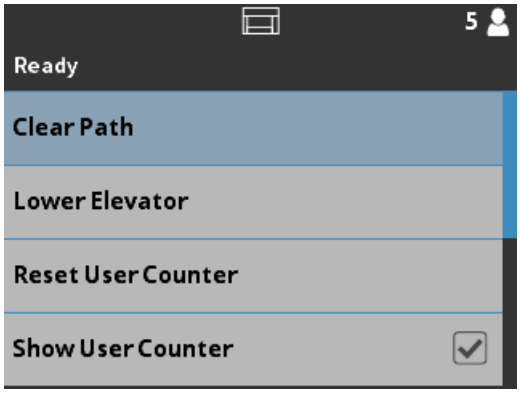
スキャナーの電源をオンにする

- **[電源]** ボタンを押します。



スキャナーが起動すると（入力エレベータが閉じている場合は開きます）、**[スタート / 一時停止]** ボタンの緑色のインジケータが点滅して、セルフテストが実行されます。

20 秒以内で電源投入シーケンスが完了し、スキャナーの準備が整います。インストールが完了してスキャンの準備が整うと、[スタート / 一時停止] ボタンの緑色の LED インジケータが点滅から点灯に変わり、[準備完了] 画面が表示されます。



スタンドアロンモード

i4x50 スキャナーはスタンドアロンモードで使用可能で、ホスト PC に接続せずに起動できます。スキャナーがスタンドアロンモードの場合、診断モードでは以下の機能が使用可能です。

- カウントのみ
- 重送付きでカウントのみ
- UDDS キャリブレーション
- 印字テスト
- パッチテスト

スキャナーの電源をオフにする

- **[電源]** ボタンを 1 秒間押し続けます。
- スキャナーに致命的エラーがある場合、電源ボタンを 5 秒間押し、スキャナーの電源を切ります。

電源モード

以下の表ではスキャナーの電源モード、LED ステータス、自動または手動による電源モードの移行方法を説明しています。

モード	オペレータコントロールパネル LED	消費電力
スタンバイ時（オフ）	オフ	0.5W 未満
スリープ状態（低電力）	2.5 秒に 1 回緑色で点滅	1.5W 未満
準備完了（スキャン時以外）	オン（緑）	55W 未満
スキャン中	オン（緑）	130W 未満
準備完了（ホストなし）。	オン（赤）	55W 未満

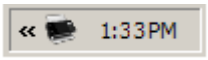
モード遷移	手動手順	自動手順
スタンバイから準備完了	［電源］ボタンを押す	なし
準備完了からスタンバイ	電源ボタンを1秒間押したままにします	なし
準備完了からスリープ	なし	プログラム可能な時間遅延: 1 ～ 240 秒 工場出荷時の設定：15 分
スリープからスタンバイ	電源ボタンを1秒間押したままにします	プログラム可能な時間遅延: 0 ～ 240 秒 工場出荷時の設定：60 分 *
スリープから準備完了	以下のいずれか： • ［電源］ボタンを押す • オペレーターコントロールパネルのいずれのボタンをタップ • 入力エレベータに用紙をセットする • ホストコマンドを受信する	なし

* カスタムオプションについては、Kodak Alaris サービス担当者にご相談ください。

3 スキャン

スキャナーの準備

スキャナーの電源がオンでスキャンの準備ができているか確認します（[スタート / 一時停止] ボタンの LED が緑色に点灯します）。スマートタッチスキャナーのアイコンがシステムトレイに表示されます。



注記：

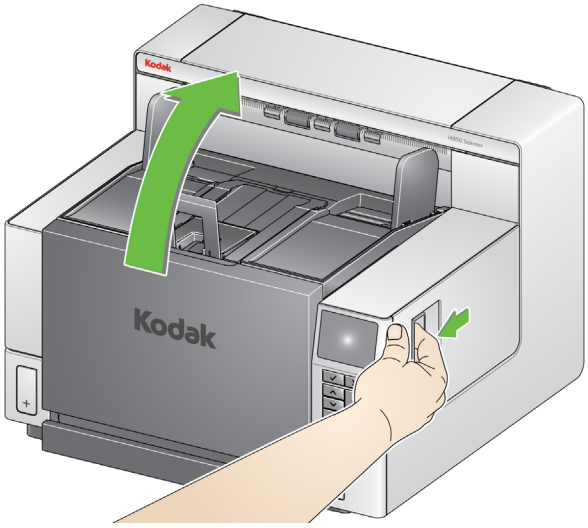
- スマートタッチでは、すばやく簡単に一般的なスキャンタスクを実行できます。9 つのタスクを割り当て、実行することができます。
- スキャナーを使用していない時は、入力トレイを折りたたむことができます。

1. スキャン要件に合わせて入力エレベータを調整します。詳細については、「入力エレベータの調整」を参照してください。
2. スキャン要件に合わせて出力トレイを調整します。詳細については、「出力トレイの調整」を参照してください。
3. 使用するスキャンアプリケーションを選択します。スキャナーには、スマートタッチ機能と *Kodak* Capture Pro LE Software が付属しています。詳細については、第 3 章の後半を参照してください。

入力エレベータの調整

サイドガイドと入力エレベータの高さは、スキャン要件に合わせて調整できます。スキャナーを使用していない場合、入力エレベータは閉じることができます。

注意： 入力エレベータを閉じる前に、最も低い位置にしておく必要があります。

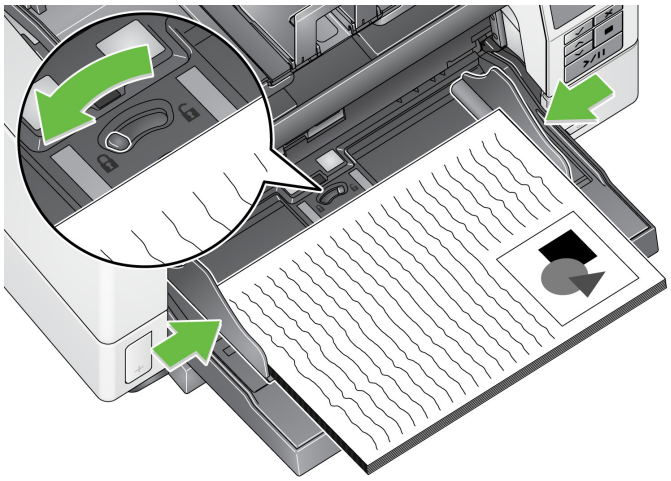


- **サイドガイドの調整** — サイドガイドは右側、左側、中央に調整して給紙できます。両方のサイドガイドを移動して中央から給紙することも、どちらか片方を動かして右端または左端からオフセット給紙することも可能です。サイドガイドを移動する前に、スイッチが**ロック**位置にないことを確認してください（下図参照）。

  注意： オプションのプリンタを使用する場合、印字文字列が正しい位置に配置されるように原稿を入力エレベータにセットする必要があります。そこで、オフセット給紙が必要な場合もあります。

- **サイドガイドのロック** — サイドガイドは調整後に所定の位置をロックできます。ガイドのロックは印字位置を固定したい場合に便利です。

  サイドガイドをロックするには、入力エレベータから原稿を取り除き、ロックのスイッチを左側（ロック位置）に切り替えます。

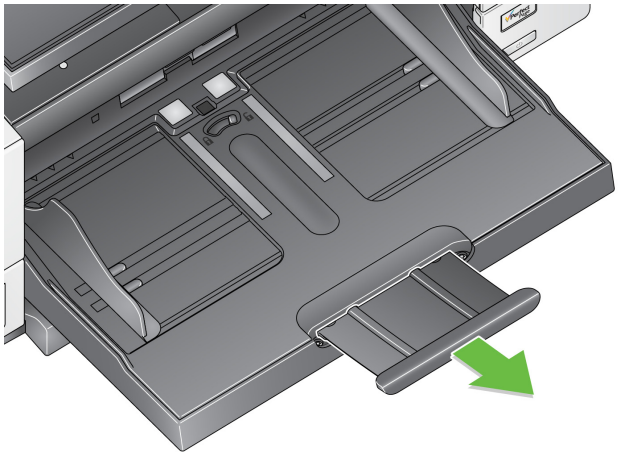


- **入力エレベータの高さの調整** — 入力エレベータは 20 lb./80 g/m^2 のボンド紙を 25 枚、100 枚、250 枚、500 枚セットするように設定できます。入力エレベータは、通常スキャンアプリケーションソフトウェア（TWAIN データソースまたは ISIS ドライバ）で設定します。

  入力エレベータの設定は、オペレータコントロールパネルで上書きできます。詳細については、この章の「アプリケーションの上書き」を参照してください。

  入力エレベータをドキュメントフィーダーの位置に設定すると、入力エレベータは一番高い位置にとどまります。100、250、または 500 枚に設定した場合、指定された枚数の原稿を給紙するために入力エレベータが自動的に上がり、最後の原稿を給紙し終わったら自動的に下がります。

- **入力エレベータの調整**
  - **長さ 27.9 cm までの原稿** — 調整は不要です。
  - **長さ 27.9 cm から 43.2 cm の原稿** — 延長トレイを引き出します。



  - **長さ 43.2 cm 以上の原稿** — 43.2 cm を超える長さの原稿をスキャンする場合、スキャナードライバはその長さに対応するよう設定する**必要があります**。[デバイス] ー [一般] タブ（TWAIN データソース）の [**最大原稿サイズ**] オプションまたは [スキャナー] タブ（ISIS ドライバ）の [**最長原稿サイズ**] オプション が、スキャンする最長原稿より長く設定されていることを確認してください。

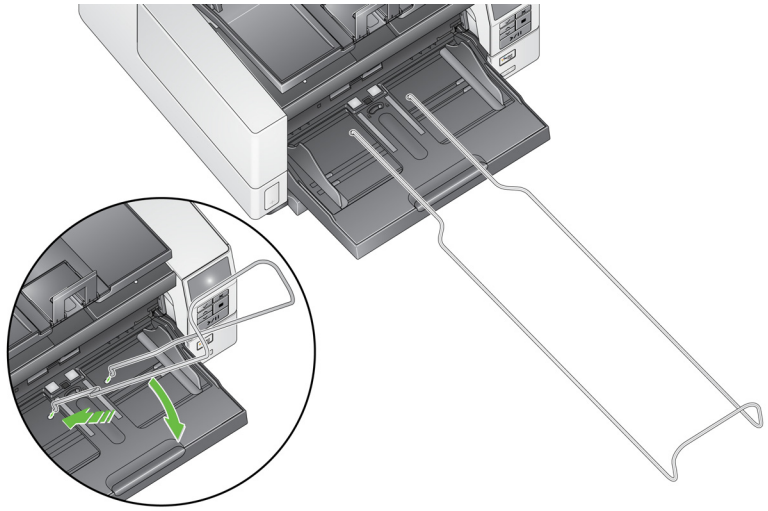
    注記：

    - 43.2 cm 以上の原稿をスキャンする場合、オペレータによる補助が必要になる場合があります。
    - 43.2 cm 以上の原稿をスキャンする場合、延長トレイの使用をお勧めします。43.2 cm ～ 86.36 cm の原稿をスキャンするために、3 種類のサイズの延長トレイが用意されています。詳細については、第 5 章の「アクセサリと消耗品」のセクションを参照してください。

- **原稿の重量** — 入力エレベータに搭載できる原稿の最大重量は、A3 用紙 500 枚に相当する重量です。A3 より大きな原稿をスキャンする場合は、推奨重量は 4.5 kg 以下でなければなりません。スキャンする原稿のサイズが A3 用紙を超える場合、100 枚以上の原稿を同時にスキャンしないでください。

延長トレイの取り付け

- 延長トレイの終端を入力エレベータまたは出力トレイの穴に挿入し、延長トレイを正しい位置に取り付けます。



出力トレイの調整、後部位置合わせ、機能向上版または最適なドキュメントハンドリング

Kodak i4250、i4650、i4850 スキャナーはスタッキングに優れているため、出力トレイのサイドガイドや原稿ストッパーを使用しないで原稿をスキャンできます。サイドガイドの一方または両方を折りたたみ、高さの調節タブを引き上げると、スキャンした原稿をスキャナーの前方、右側、左側から簡単に取り除けます。スキャニングアプリケーションまたはアプリケーションの上書き機能を使用してオペレータコントロールパネルで有効化された機能**向上版**または**最適なドキュメントハンドリング**により、サイドガイドと原稿ストッパーを使用する前に、この方法をお試しください。

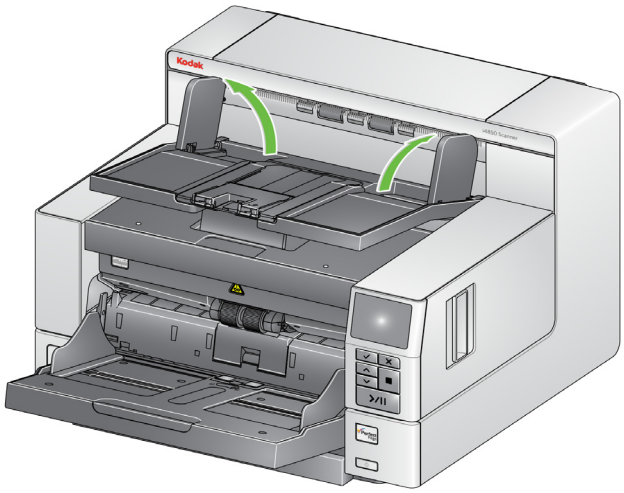
注意： サイドガイドと原稿ストッパーを使用した方が便利な場合は、次のセクションで調整方法を確認してください。

- **出力トレイの角度調整** — スキャニングアプリケーションで有効化された機能向上版または最適なドキュメントハンドリングオプションを使用し、スキャンした原稿が最適に排紙されるよう、出力トレイの角度を「高い」位置に設定することをお勧めします。出力トレイの前部を持ち上げると、その下から高さの調節タブが出てきます。



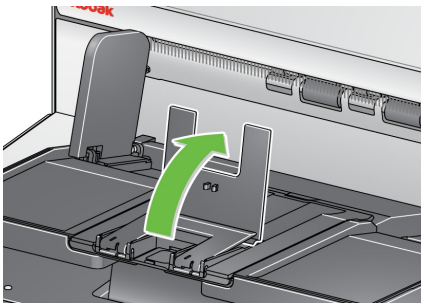
出力トレイを下げるには、出力トレイの下の高さの調節タブをゆっくり押して、出力トレイをプリンタアクセスカバーの方向に下げます。

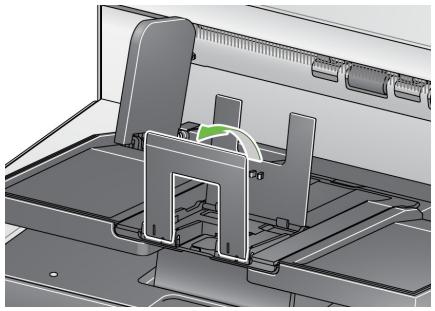
- **サイドガイドの調整** — 出力トレイの上にあるサイドガイドを開き、入力エレベータのサイドガイドの位置に一致するよう調整します。

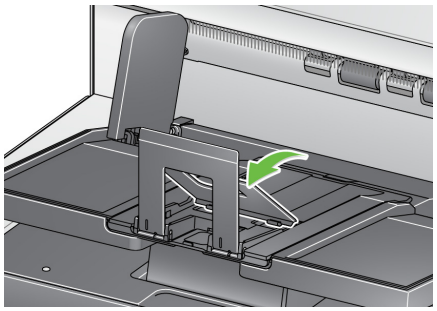


サイドガイドは出力トレイの方向に折りたたむことができます。

- **原稿ストッパーの調整** — 排紙トレイの原稿ストッパーは、給紙する原稿の長さよりも長くなるように調整します。排紙トレイよりも長い原稿をスキャンする場合、排紙トレイの原稿ストッパーを折りたたみます。





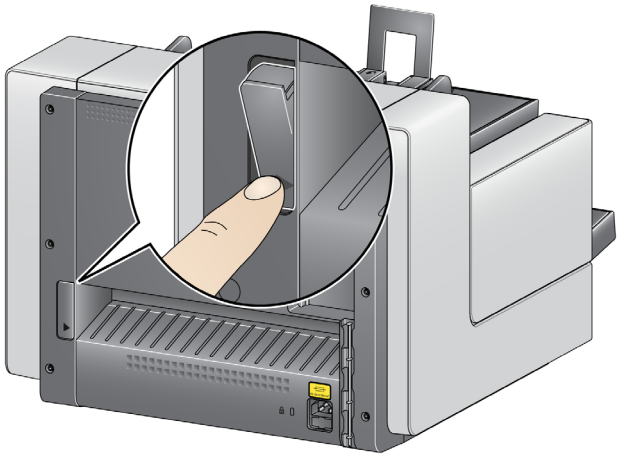


原稿の先端揃えおよび通常のドキュメントハンドリング用に出力トレイの調整

スキャン後の原稿の先端を出力トレイに合わせてそろえたい場合、*Kodak* 先端揃え調整排出トレイアクセサリが使用可能です。出口トレイの使用の詳細については、アクセサリに付属の説明書を参照してください。

背面排紙口の使用

特別な処理を必要とする原稿（破損しやすい原稿、配送用封筒など）は背面排紙口から出力できます。この排紙口は、ストレートパス搬送オプションによって、特別な処理を必要とする原稿にはこの搬送路が使用されます。これにより紙詰まりを防止できます。



背面排紙口は、以下の場合に使用します。

- 原稿が非常に堅い（例えば、曲げにくい）ため搬送路で向きを変えられず、紙詰まりする。
- 原稿が破損しやすいため、曲げずにスキャンする必要がある。
- 排紙後の原稿の順番が重要ではない。
- スキャン後に原稿が不要になるため、直接ごみ箱に入れる。
- 写真をスキャンする。

注記：

- スキャン終了後は、背面排紙口の切り替えスイッチを必ず元の位置に戻してください。
- このオプションを使用する場合、スキャナーの後部に原稿を排紙するのに十分なスペースを確保してください。
- 複数枚の原稿のスキャンに背面排紙口を使用する場合、給紙とは逆の順番で排紙されます。

原稿の準備

1. 標準用紙サイズの原稿は、簡単に給紙できます。スキャンする原稿は、先端を揃えて入力エレベータの中央に積み重ねます。これにより、原稿は 1 枚ずつスキャナーに給紙されます。
2. ホチキスやクリップは、スキャン前にすべて取り外してください。原稿がホチキスやクリップで留められていると、スキャナーや原稿が破損する場合があります。
3. スキャン前に、原稿上のすべてのインクや修正液が乾いていることを確認してください。
4. 破れたりしわになっているページがある原稿でも、このスキャナーでは問題なくスキャンすることができます。ただし、原稿の破損状態によっては例外もあります。破損した原稿がスキャナーに取り込まれるか判断できない場合、原稿を透明な保護用クリアシート等に入れて、背面排紙口を使用してください。シートは 1 枚ずつ手動で給紙する必要があります。ギャップリリース切り替えスイッチを使用しながら、閉じてから給紙してください。

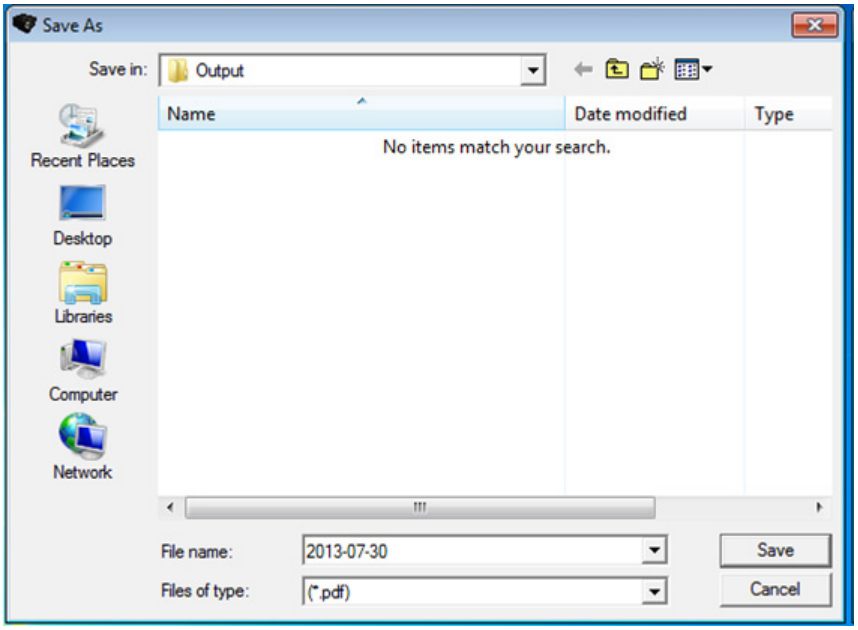
   注意： オプションの *Kodak* A3 フラットベッドでは脆弱な原稿をスキャンすることもできます。

5. スキャンする原稿を入力エレベータにセットします。

注記：

- あまりにも厚い原稿や硬い原稿（配送用封筒など）の場合は、以下の設定が必要になる場合もあります。
  - 背面排紙口の使用。
  - ギャップリリース切り替えスイッチの使用。
  - プリセパレーションパッドの取り外し。
  - スキャナーの搬送速度の減速（300dpi 以上でスキャンするなど）

6. オペレータコントロールパネルに **[1 - カラー PDF]** と表示されたら、**[スタート / 再開 / 一時停止]** ボタンを押します。スキャン終了後、［名前を付けて保存］のダイアログボックスが表示されます。



7. ファイル名（My First Scan.pdf など）を入力して、ファイルを保存する場所（デスクトップなど）を選択し、**[保存]** をクリックします。**[保存]** をクリックすると、確認のためドキュメントが表示されます。注記：スキャナーのニーズに合わせてスマートタッチが設定されます。スマートタッチの詳細については、スキャナーに付属されている CD の *ドキュメント* フォルダを参照してください。
8. これでスキャナーの使用準備が完了しました。

原稿のスキャン

原稿をスキャンするには、スキャナーを有効にする必要があります。スキャンアプリケーションで有効にできます。スキャナーを有効にしたら、スキャナーの設定内容によって、自動的にスキャンを開始するか（自動開始）、オペレータコントロールパネルの **[スタート / 一時停止]** ボタンを押してスキャンを開始します。詳細は、スキャンアプリケーションに対応したマニュアルを参照してください。

1. 前のセクションのガイドラインに従って原稿を準備したら、スキャンアプリケーションでスキャンジョブが目的に応じて設定されていることを確認します。
2. スキャンする原稿を入力エレベータにセットします。
3. スキャンアプリケーションを使用してスキャンを開始します。

スキャナーのスタート、停止、一時停止、および再開

原稿のスキャン中に手動でスキャナーをスタート、停止または一時停止することができます。

- スキャンを一時的に停止するには、オペレータコントロールパネルの **[スタート / 一時停止]** ボタンを 1 回押します。
- 一時停止していたスキャンを再開させるには、オペレータコントロールパネルの **[スタート / 一時停止]** を押します。
- スキャンを停止したい場合は、オペレータコントロールパネルで **[停止]** を押します。

注意： スキャン中、スキャナは内部イメージバッファメモリを監視しています。ホストコンピュータがイメージを取得する前にイメージが優先処理されることを防ぐためにスキャナーはフィーダを自動的に一時停止します。内部バッファメモリが解放されるとスキャンが再開します。

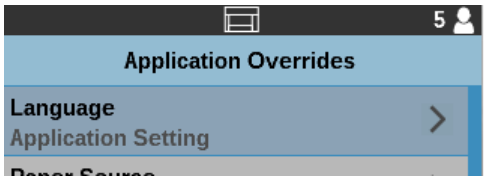
[スタート / 一時停止] ボタンを使用した簡易クリーニング

スキャナーが一時停止状態であれば、スキャナーを無効にせずに、スキャナーのカバーを開くことができます。スキャン中の画像に線が入っている場合、**[スタート / 一時停止]** ボタンを押して、原稿の一括スキャン中でもイメージングガイドをすばやく清掃することができます。これを行うには、以下の手順に従います。

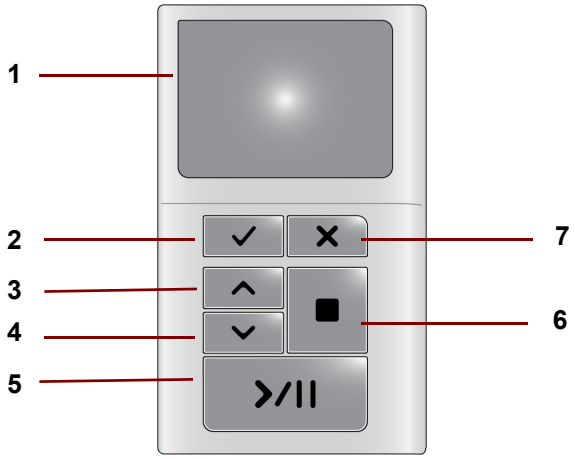
- **[スタート / 一時停止]** ボタンを押してスキャナーカバーを開き、イメージングガイドをクリーニングします。カバーを閉じて、**[スタート / 一時停止]** ボタンを押します。手順については、第 5 章の「イメージングガイドの清掃 - 基本」の項を参照してください。

オペレータコントロールパネルの使用

オペレータコントロールパネルの画面から、さまざまなオプションを利用することができます。オプション名の後に矢印がある場合、オペレータコントロールパネルの ✓ ボタンを押して、オプションを選択すると、他の選択肢のある新しい画面が表示されます。



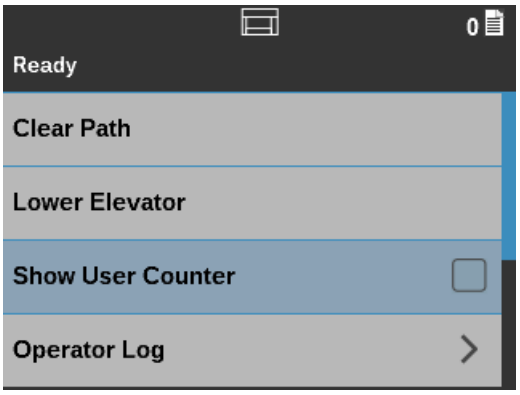
これらのオプションの詳細は、以降のセクションを参照してください。以下は、オペレータコントロールパネルの各ボタンの説明です。



1	**オペレータコントロールパネル画面**：メニュー項目、原稿カウンター、用紙の現在の状態、スキャナーの状態とイベントを表示します。
2 ✓	**選択**：メニューで選択したアクションを実行します。
3 ^	**上**：メニューの項目を 1 つ上にスクロールします。
4 v	**下**：メニューの項目を 1 つ下にスクロールします。
5 >/II	**スタート / 一時停止**：スキャンをスタート、またはスキャングジョブを一時停止します。
6 ■	**停止**：スキャナーを停止します。
7 ✕	**戻る / 再スキャン**：このボタンを押すと、前の画面に戻ります。注記：インタラクティブ重送検出オプションを使用する場合、このボタンを押して原稿を再スキャンします。

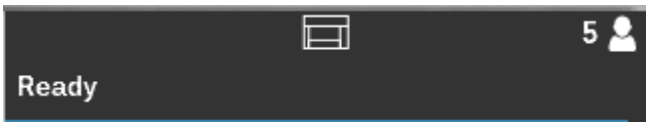
[準備完了] 画面

スキャナーが起動し準備が整うと、[準備完了] 画面が表示されます。



ステータス領域

ステータス領域には以下のアイコンが表示されます：



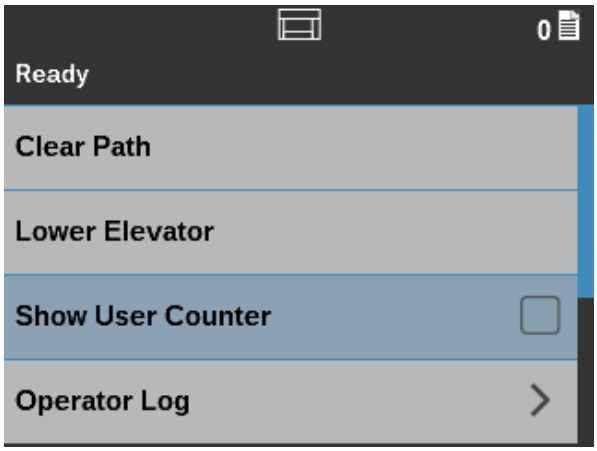
歯車アイコン *	アプリケーションの上書きが有効であることを示します。
用紙インジケータ *	原稿が入力エレベータにあり、スキャナーは入力エレベータからスキャンを行うことを示します。
用紙インジケータ	入力エレベータに原稿がないことを示します。
原稿枚数	スキャンした原稿の枚数を示します。
ユーザカウンタアイコン	ユーザカウンタが表示されていることを示します。
ドキュメントカウンタアイコン *	ドキュメントカウンタが表示されていることを示します。ユーザカウンタが**オフ**の場合にのみ表示されます。

* これらのアイコンは上の図に表示されません。

[準備完了] 画面から以下のオプションにアクセスできます。

- 搬送路のクリア
- エレベータを下げる
- ユーザカウンタをリセット
- ユーザカウンタを表示
- スマートタッチ
- オペレータログ
- 情報
- 診断
- 設定

注意： オペレータコントロールパネルの [上 / 下] 矢印ボタンを使用すると、すべてのオプションを表示できます。





オプションがオン / 有効であることを示します。



オプションがオフ / 無効であることを示します。



別の画面を表示します。

搬送路のクリア — スキャナーの搬送部から原稿を取り除く場合にこのオプションを使用します。

エレベータを下げる — 給紙エレベーターにセットする用紙を追加したい場合は、このオプションを使用します。入力エレベータが一番下（500 枚分）まで下がります。

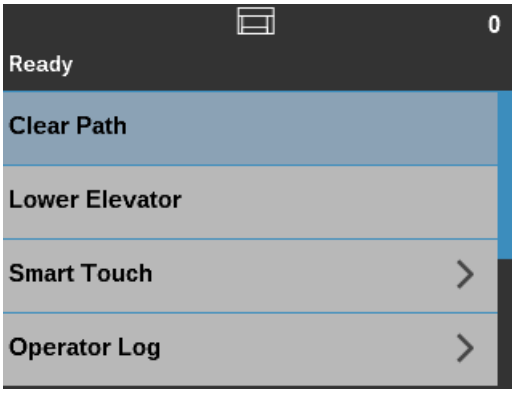
ユーザカウンタをリセット — ユーザカウンタのリセット（ドキュメントカウンタはスキャンアプリケーションでリセットします）が可能です。ユーザカウンタを表示がオフ / 無効であれば、表示されません。

ユーザカウンタを表示 — ユーザカウンタを表示します。オペレータコントロールパネルの [**選択**] ボタンを押して、このオプションを有効または無効にします。

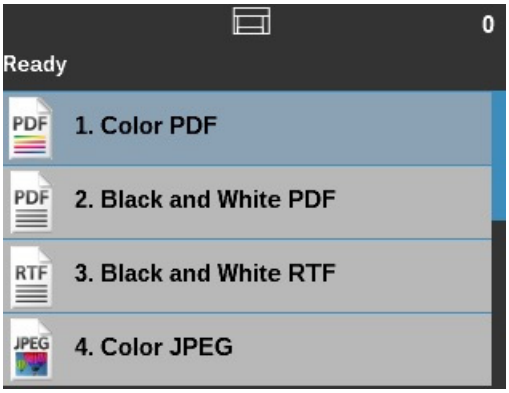
[準備完了] 画面でその他のオプションを選択すると、別のオプションが使用できます。詳細については、次のセクションを参照してください。

スマートタッチ

スマートタッチは、スキャナーを簡単に操作するための複数のスキャン機能を提供しています。

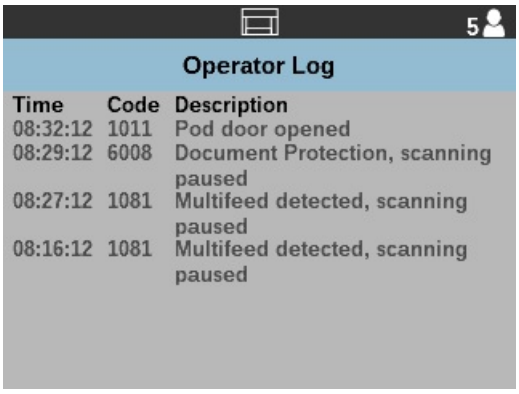


［準備完了］メニューからスマートタッチを選択すると、スマートタッチのショートカットが表示されます。ショートカットの１つを選択し、その機能を使用してスキャンを開始します。



オペレータログの表示

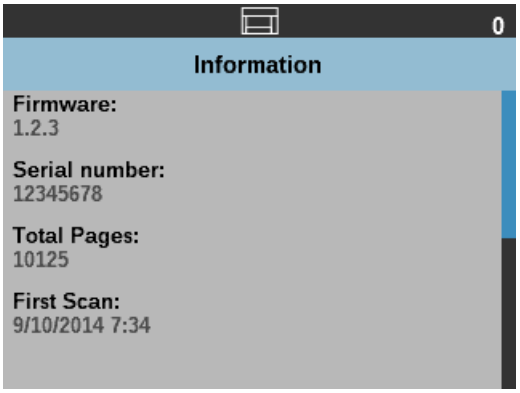
オペレータログは、エラーが発生した時刻、エラーコード、エラーの簡単な説明など、エラーコード情報を表示します。



ここには、スキャナーの電源投入後に最後に発生したメッセージが表示されます。電源を切るか、スキャナーが待機モードまたは省電力モードになると、オペレータコントロールパネルに表示されたオペレータログが消去されます。

スキャナー情報の表示

情報画面にはスキャナーに関する情報（ファームウェアのバージョン、スキャナーのシリアル番号、スキャン合計枚数など）が表示されます。

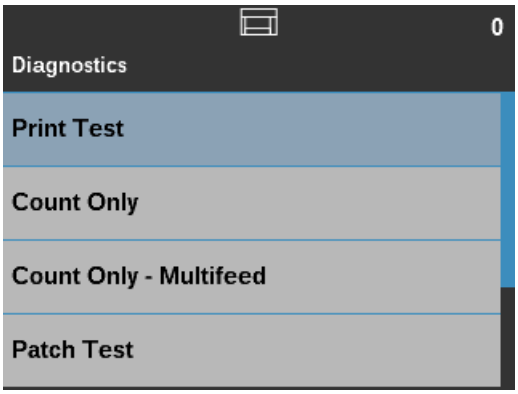


診断

診断機能には以下のオプションがあります。

- 印字テスト
- カウントのみ
- カウントのみ - 重送
- パッチテスト
- UDDS キャリブレーション
- 変更

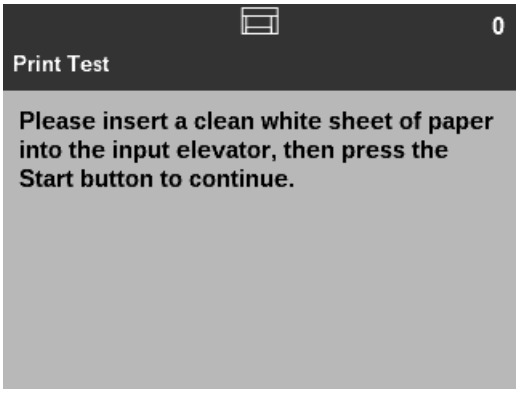
各オプションの説明は、以降のセクションを参照してください。



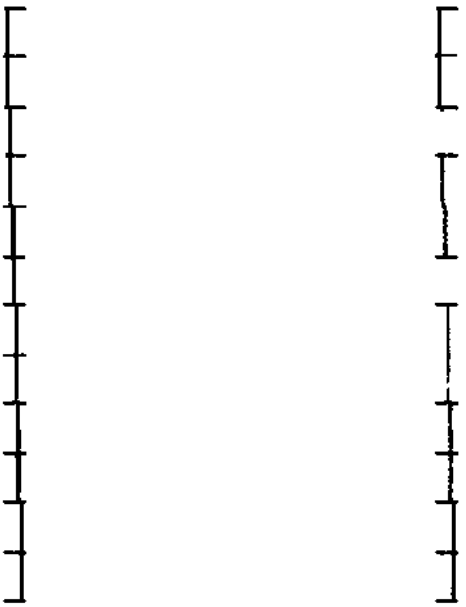
印字テストの実行

印字テストを実行すると、オプションの拡張プリンタのインクジェットが正しく機能しているかを確認できます。

1. **[印字テスト]** を選択します。[印字テスト] 画面が表示されます。



2. 入力エレベータに白紙をセットします。
3. **[スタート / 一時停止]** ボタンを押します。出力トレイに印字テストされた用紙が排紙されます。
4. 出力トレイから用紙を取り出して、テストパターンの品質を評価します。
   - パターンが完全な場合は、印刷を開始する準備が完了しています。
   - パターンにムラがある場合は、インクカートリッジが正しくセットされているかを確認してください。ムラがない場合は、インクカートリッジの下部にあるプリントヘッドをクリーニングするか、インクカートリッジを交換する必要があります。



許容できる　　許容できない : むらのあるパターン

注意 : インクカートリッジをインクカートリッジホルダから取り外して、湿った布で軽く拭いてください。インクカートリッジの取り外しや交換の手順は、第 4 章、「*ドキュメントの印字*」を参照してください。

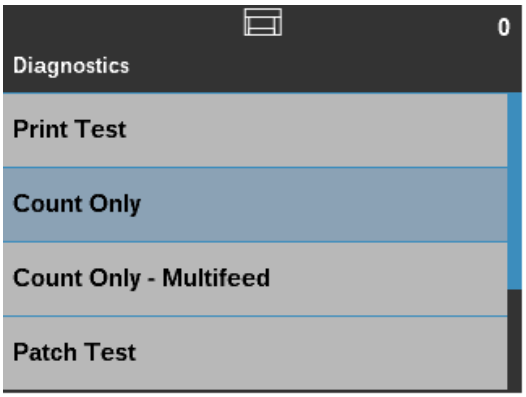
5. **[停止]** をクリックして [診断] 画面に戻ります。

カウントのみ

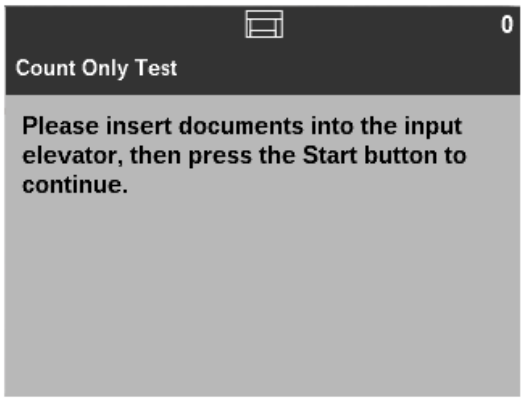
実際にスキャンせずに、スキャナを通る原稿の枚数を数えたい場合に、この機能を利用します。

注意： ホスト PC をスキャナーに接続しなくても、ページ数を数えることができます。

1. **[カウントのみ]** を選択します。



[カウントのみテスト] 画面が表示されます。



2. カウントする原稿を入力エレベータにセットして、**[スタート / 一時停止]** ボタンを押します。スキャナーがすべての原稿を給紙すると、総数がステータスエリアに表示されます。



3. **[停止]** をクリックして [診断] 画面に戻ります。

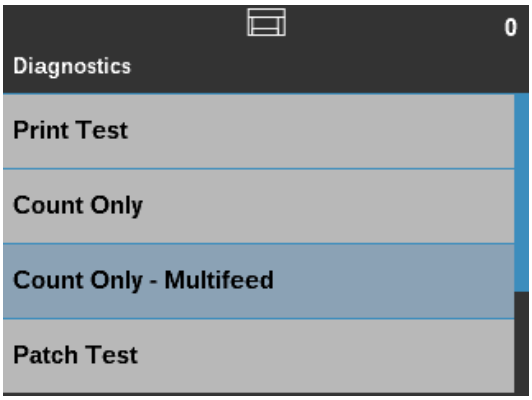
注記：

- [停止] ボタンを押すと、フィーダと搬送部が停止します。[スタート] ボタンを押すと、カウントのみテストを再開します。
- カウントのみモードでは、重送検知は有効にできません。

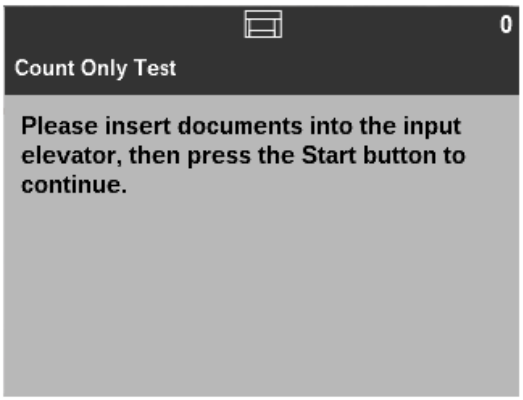
カウントのみ - 重送

カウントのみ - 重送オプションによりスキャンせずに原稿をカウントできますが、重送を検出するとスキャナーは停止します。

1. **[カウントのみ - 重送]** を選択します。



[カウントのみテスト] 画面が表示されます。



2. 入力エレベータに、原稿をセットします。スキャナーが原稿をカウントする間に重送が発生すると、スキャナーが停止します。
3. **[スタート / 一時停止]** ボタンを押してカウントを再開します。スキャナーがすべての原稿を給紙すると、総数が表示されます。

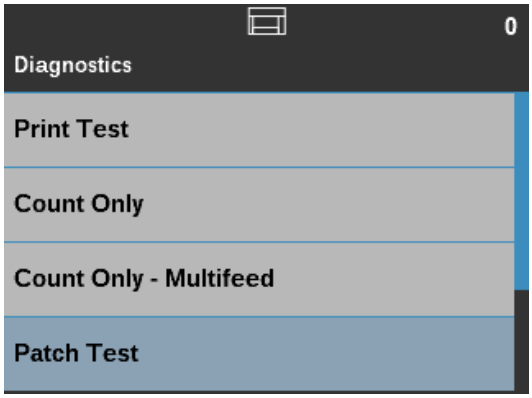


4. **[停止]** をクリックして [診断] 画面に戻ります。

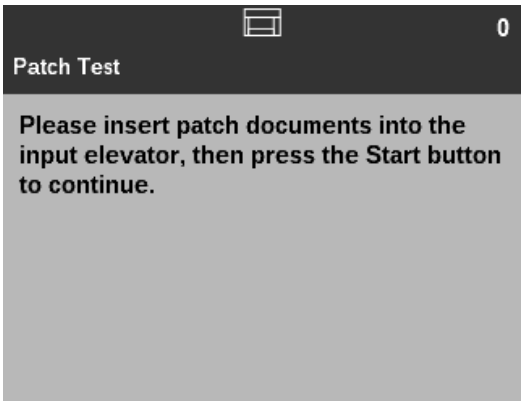
パッチ検知テストの実行

[パッチテスト] オプションを使用して、切り替えパッチの検出を確認できます。

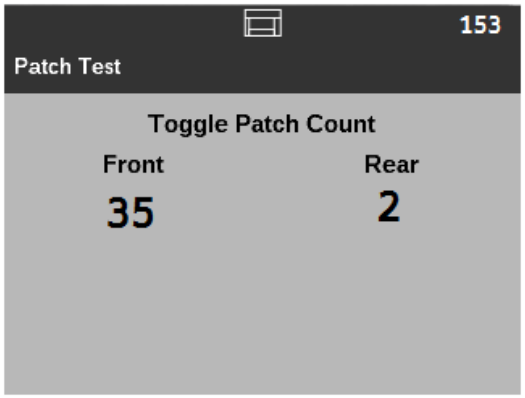
1. [診断] 画面で **[パッチテスト]** を選択します。



[パッチテスト] 画面が表示されます。



2. パッチのある原稿を入力エレベータにセットし、**[スタート / 一時停止]** ボタンを押します。原稿をスキャンしたら、パッチ検出テストの結果が表示されます。結果には、スキャナーが認識した切り替えパッチの数が表示されます。

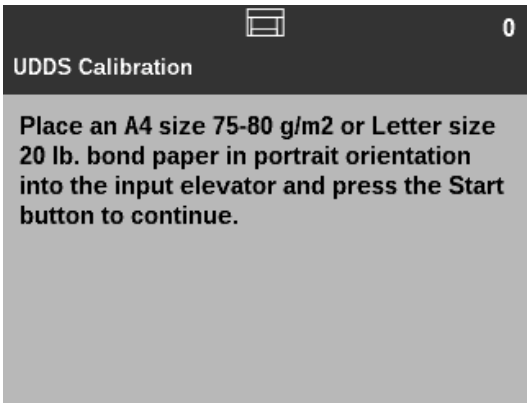


3. **[停止]** をクリックして [診断] 画面に戻ります。

重送検知キャリブレーションの実行

超音波重送検知のキャリブレーションは、超音波重送検知機能をキャリブレーションする場合に用いられます。超音波重送検知のキャリブレーションは、ほとんど実行する必要はありません。給紙や重送検知に関する問題が発生した場合にのみ、このキャリブレーションを行ってください。

1. **[UDDS キャリブレーション]** を選択します。[UDDS キャリブレーション] 画面が表示されます。



2. 入力エレベータに A4 サイズの 75 ～ 80 g/m^2、またはレターサイズの 20lb. のボンド紙を縦方向にセットするように指示するメッセージが表示されます。
3. **[スタート / 一時停止]** ボタンを押します。キャリブレーションの結果が表示されます。

変更

このオプションは保守専用です。Kodak Alaris のサービス担当者から指示を受けた場合のみ、このオプションを使用してください。

設定画面

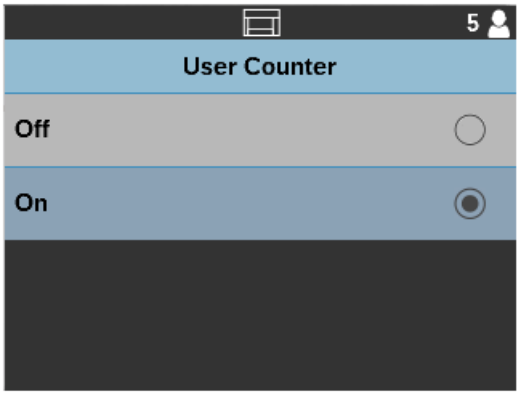
[設定] 画面には、たまにしか設定する必要のないスキャナ設定オプションが用意されています。

- **ユーザカウンタ オン** — にすると、リセットするまで給紙される原稿枚数を全てカウントします。
- **自動エレベータ** — **オン**にすると、入力エレベータに原稿をセットしたときに入力エレベータが自動的に上がります。
- **ホッチキス / 金属防護** — 有効にすると、スキャナーは原稿上の金属（ホッチキス、ペーパークリップなど）を検知します。これにより原稿とスキャナーの損傷を防ぎます。
- **音量** — スキャナーアラームの音量を調整します。**[オフ]**、**[低]**、**[中]**、または **[高]**。
- **紙詰まり OCP コントロール** — 選択した場合、**[切り替え]** を選択すると、任意の数の原稿に対して重送および金属保護機能を有効または無効にできます。**[省略]** を選択すると、次の原稿に対してのみこれらの機能が無効になります。
- **アプリケーションの上書き** — [アプリケーションの上書き] 画面では、言語、スキャン方法、スキャン後の回転、紙詰まり検出オプションとスキャナー速度を設定できます。[アプリケーションの上書き] 画面からアクセスするほとんどの画面には［アプリケーション設定］オプションがあります。アプリケーション設定オプションはデフォルトであり、スキャナーではスキャンアプリケーションで定義された設定を使用することを意味します。
- **すべての設定をリセット —** このオプションを設定すると、すべての設定がスキャナーのデフォルトに戻ります。

ユーザカウンタ

[ユーザカウンタ] オプションは、1 日、1 時間、またはバッチあたりのスキャン枚数を自動的に追跡します。スキャンセッションでスキャンされたページ数を手動で追跡している場合、このオプションを使用すれば、手動作業が大幅に省けます。

このオプションを **[オン]** にすると、カウンタは 0 になり、用紙 1 枚毎にカウントアップします。[準備完了] 画面で [ユーザカウンタをリセット] オプションを選択すると、いつでもこのカウンタをリセットできます。



ユーザーカウンタが **[オン]** の場合、**[ユーザカウンタの表示]** と **[ユーザカウンタのリセット]** オプションが [準備完了] 画面で利用できます。

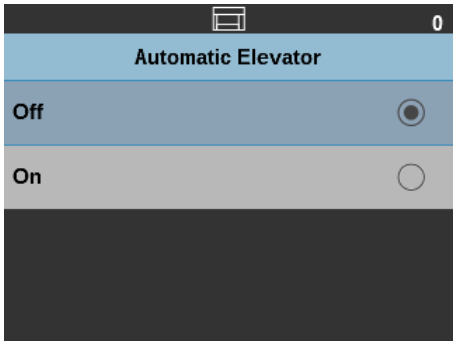
- [準備完了] 画面で **[ユーザーカウンタの表示]** を選択すると、[カウンタ値] の横にあるステータス領域にユーザカウンタアイコン  が表示されます。

ユーザーカウンタが **[オフ]** の場合、**[ユーザカウンタの表示]** と **[ユーザカウンタのリセット]** オプションが [準備完了] 画面で利用できます。ステータス領域に表示されるのは原稿カウンタ値のみです。

自動エレベータ

このオプションを **[オン]** にすると、入力エレベータに原稿をセットしたときに入力エレベータが自動的に給紙位置まで上がります。

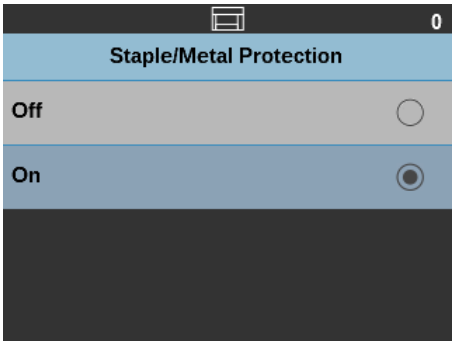
1. [設定] 画面で [**自動エレベータ**] を選択します。



2. **[オフ]** または **[オン]** を選択します。
3. **［選択］**ボタンを押してから **［戻る］**（X）ボタンを押すと、設定画面に戻ります。

ホッチキス / 金属防護

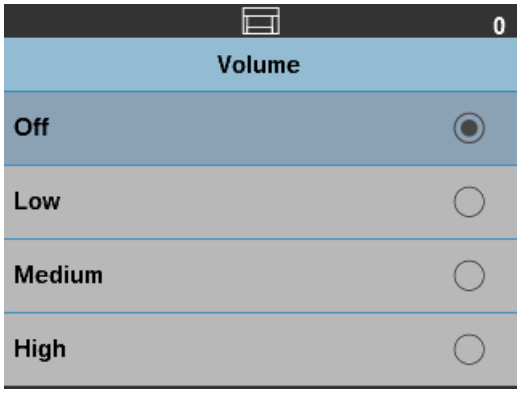
このオプションを **[オン]** にすると、スキャナーは原稿にホッチキス、ペーパークリップなどがあるか検知します。この設定により原稿とスキャナーの損傷を防ぎます。スキャナーが原稿で金属を検知すると、スキャナーは停止し、原稿から金属を取り除いてスキャンを継続できます。



音量の変更

[音量] 画面では、スキャナーの状態に応じて出す警告音の音量を調整できます。次のオプションを選択できます。**高**（最大）、**中**、**低**（最も静か）、または **オフ**（無音）。デフォルトは **［オフ］** です。

1. [設定] 画面で **[音量]** を選択します。

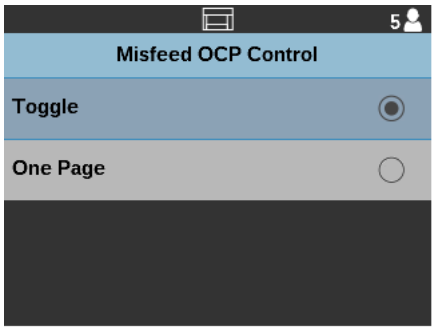


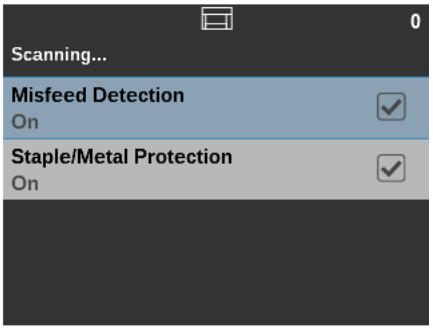
2. 最適な **[音量]** を選択します。
3. **[選択]** ボタンを押してから **[戻る]**（X）ボタンを押すと、設定画面に戻ります。

紙詰まり OCP コントロールの使用

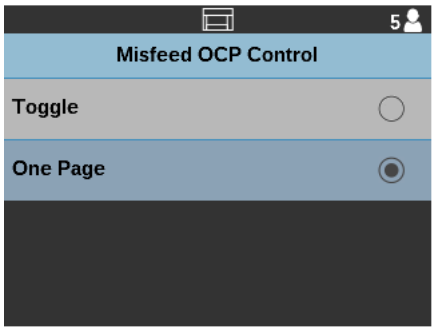
このコントロールの設定は、スキャン中に重送と金属保護の設定を上書きするために使用されます。

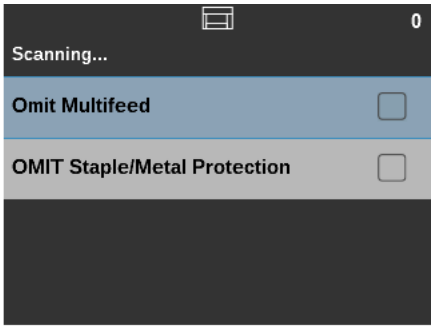
1. 画面から **[紙詰まり OCP コントロール]** を選択した後、**[切り替え]** を選択することにより、任意の数の原稿の紙詰まり検出および金属保護機能を有効または無効にできます。





2. **[1 ページ]** を選択して、重送および金属保護機能の [省略] オプションにアクセスすることで、単一原稿の機能を無効にできます。同じスキャンジョブ内の他の原稿については、必要に応じて**[省略]**を再チェックします。

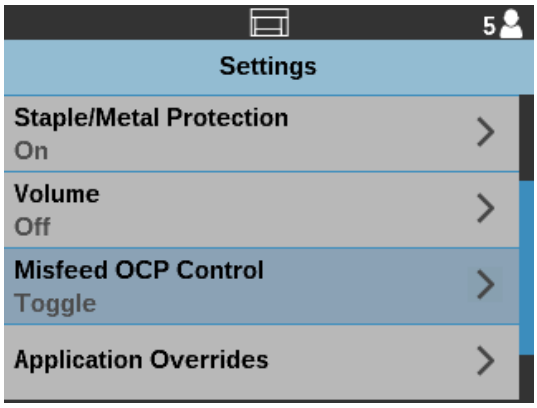




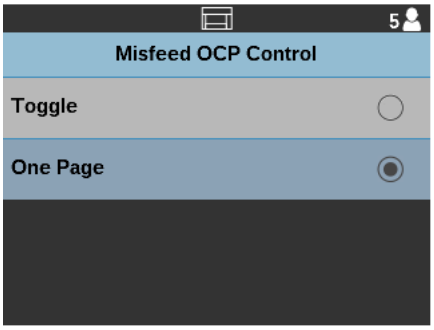
重送検出またはホッチキス/金属保護の省略

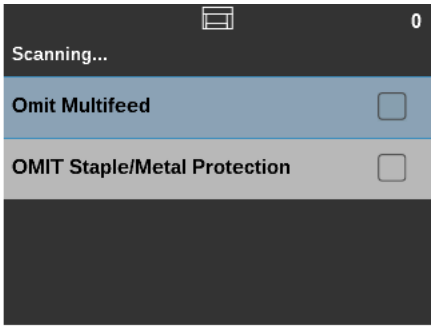
これらのオプションは、スキャン中にアクティブにして、重送および金属保護の設定を上書きし、より厚い原稿またはホイルのある原稿がジョブを一時停止せずにスキャナーを通過させることができます。

1. スキャン中に重送検出と金属保護オプションを省略できるようにするには、OCP から **[紙詰まり OCP コントロール]** を選択してコントロールにアクセスします。**[切り替え]** は、デフォルト設定です。

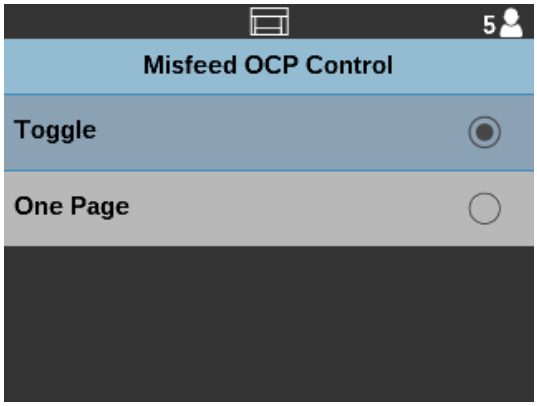


2. **[1 ページ]** を選択して、単一原稿の機能を無効にできる重送および金属保護機能の [省略] オプションにアクセスします。同じスキャンジョブ内の他の原稿については、必要に応じて **[省略]** を再チェックします。





3. [省略] オプションを使用する必要がある原稿をスキャンした後、**[切り替え]** を選択すると、任意の数の原稿の紙詰まり検出および金属保護機能を有効または無効にできます。



注意： 表示された紙詰まり / 金属保護設定は、設定が変更されるか、**[省略]** が再度アクティブ化されるまで、すべての原稿に適用されます。

アプリケーションオーバーライド

[アプリケーションの上書き] オプションは、現在のスキャンジョブの設定を上書きして、以降のスキャンジョブの言語、スキャン方法、スキャン後の回転、紙詰まり検出オプションとスキャナー速度を新たに設定できます。上書きされた設定は固定され、スキャニングアプリケーションの他の設定より優先されます。

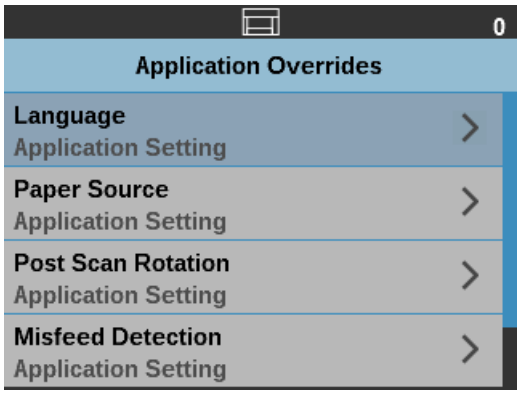
たとえば、入力エレベータから 100 枚スキャンするように設定されている場合、[スキャン方法] を **250 枚**に変更することができます。または、**自動 - デフォルト値 90 度**に設定されている場合、[スキャン後の回転] を**自動 - デフォルト値 180 度**に変更することができます。

言語の選択

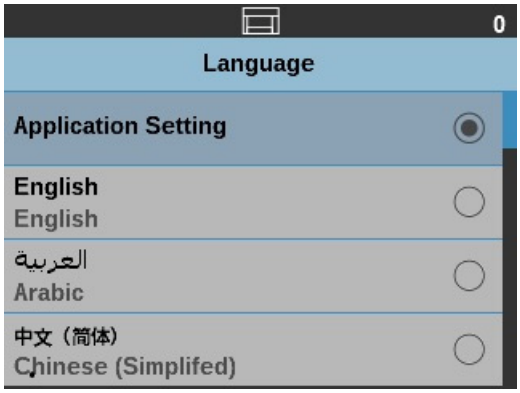
Kodak i4x50 スキャナーのディスプレイは、多言語をサポートしています。オペレータコントロールパネル上の情報を表示する言語を選択します。

注意： 言語を設定する場合、[**アプリケーション設定**] オプションは、自動的にスキャナーの表示をホスト PC の言語に合わせて設定します。

1. [設定] 画面で [**アプリケーションの上書き**] を選択して、言語設定にアクセスします。



2. **[言語]** を選択すると、[言語] 画面が表示されます。

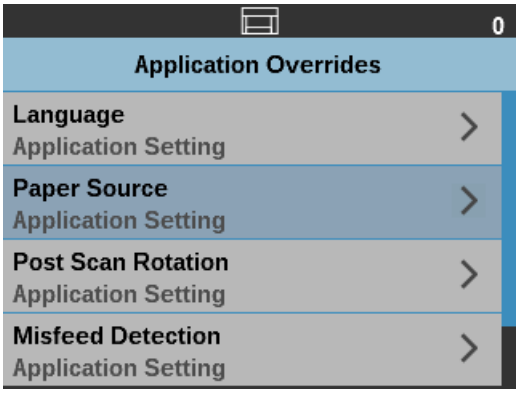


3. 使用する **[言語]** を選択します。
4. **[選択]** ボタンを押してから、**[戻る]**（X）ボタンを押すと、[アプリケーションの上書き] 画面に戻ります。

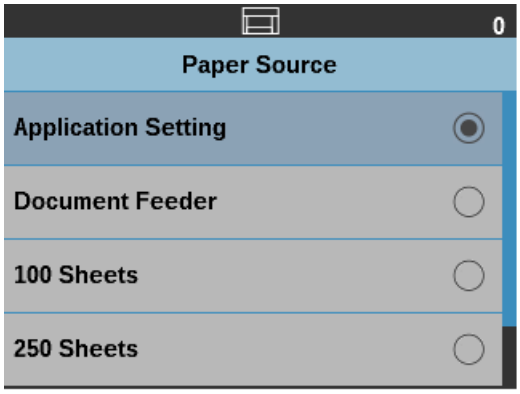
スキャン方法の選択

［スキャン方法］オプションにより入力エレベータの高さを選択できます。

1. [設定] 画面で [**アプリケーションの上書き]** を選択して、スキャン方法設定にアクセスします。



2. [アプリケーションの上書き] 画面で [**スキャン方法**] を選択します。



3. 以下のいずれかのオプションを選択します。
   - **原稿フィーダ**：入力エレベータは一番高い位置にあります。
   - **100 枚**
   - **250 枚**
   - **500 枚**

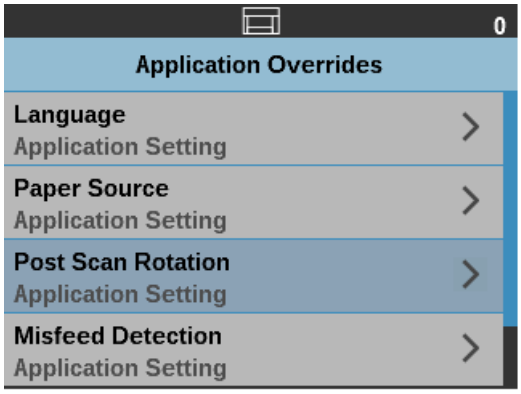
   注意： 上記の選択項目については、『Kodak i4x50 スキャナースキャンセットアップガイド』の TWAIN と ISIS の項目を参照してください。

4. **[選択]** ボタンを押してから、**[戻る]**（X）ボタンを押すと、[アプリケーションの上書き] 画面に戻ります。

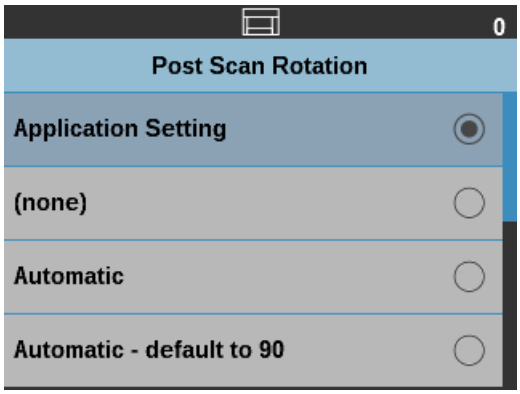
スキャン後の回転の設定

スキャン後に回転オプションにより電子イメージのスキャン後にイメージに適用される回転オプションを選択できます。

1. [設定] 画面で [**アプリケーションの上書き**] を選択して、スキャン後の回転設定にアクセスします。



2. [アプリケーションの上書き] 画面で **[スキャン後の回転]** を選択します。



3. 以下のいずれかのオプションを選択します。
   - **（なし）**
   - **自動**
   - **自動 - デフォルト値 90 度**
   - **自動 - デフォルト値 180 度**
   - **自動 - デフォルト値 270 度**
   - **90、180、270 度**

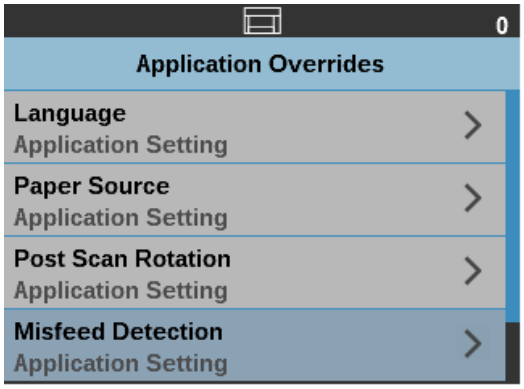
   注意： 上記の選択項目については、『Kodak i4x50 スキャナースキャンセットアップガイド』の TWAIN と ISIS の項目を参照してください。

4. **[選択]** ボタンを押してから、**[戻る]**（X）ボタンを押すと、[アプリケーションの上書き] 画面に戻ります。

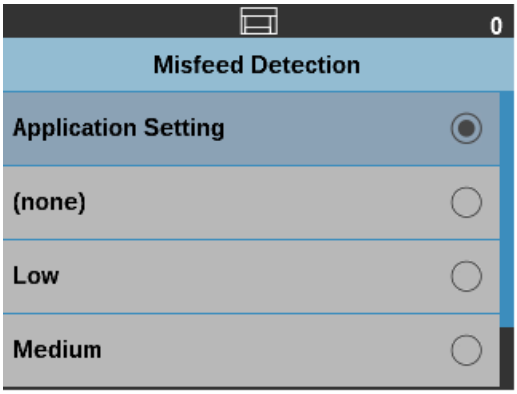
紙詰まり検出の設定

このオプションではスキャナーの複数の重送機能が併用され、これには重送検知感度、スキャナーに正しく入っていない原稿を、スキャナーがどの程度積極的に検出するかを決定するインテリジェン原稿保護などがあります。

1. [設定] 画面で [**アプリケーションの上書き**] を選択して、紙詰まり検出設定にアクセスします。



2. [**アプリケーションの上書き**] 画面で [紙詰まり検出] を選択します。

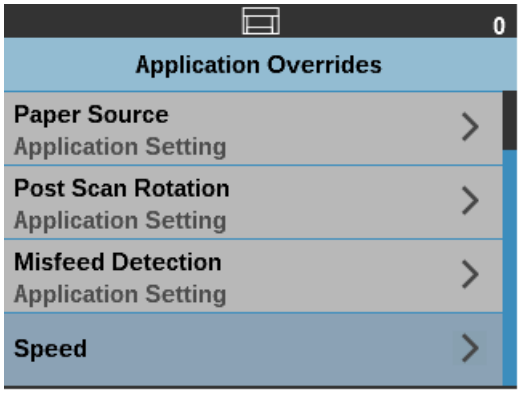


3. 以下のいずれかの紙詰まり検出オプションを選択します。**[低]**、**[中]**、**[高]** を選択すると、重送検知はインタラクティブ重送アクションとともに有効になり、3 つのセンサが起動します。またインテリジェントな原稿保護が有効になります。
   - **（なし）**
   - **低**
   - **中**
   - **高**
4. **[選択]** ボタンを押してから、**[戻る]**（X）ボタンを押すと、[アプリケーションの上書き] 画面に戻ります。

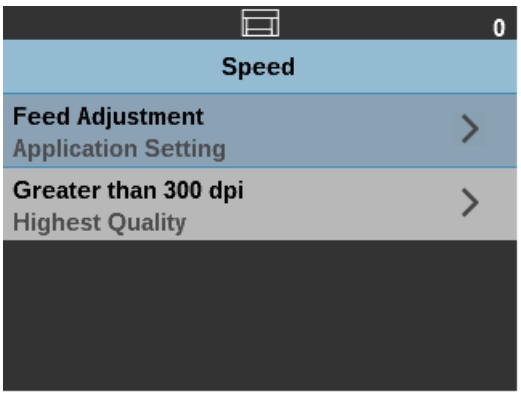
スキャナー速度の設定

［速度］オプションにはスキャンするページの速度を制御するオプションのメニューが表示されます。

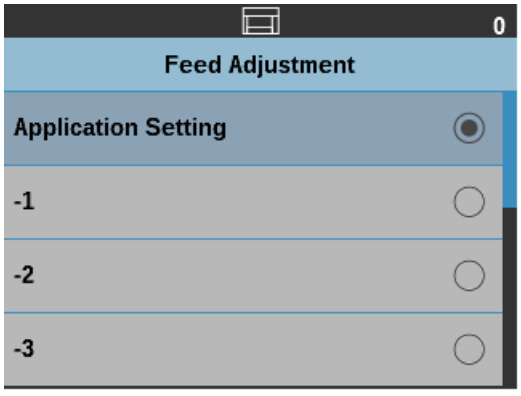
1. [設定] 画面で [**アプリケーションの上書き**] を選択して、速度設定にアクセスします。



2. [アプリケーションの上書き] 画面で **[速度]** を選択します。



3. 次のいずれかの速度オプションを選択します。
   - **フィード調整**：このオプションではお好みのスキャンペースに合わせてスキャナーの処理能力を調整できます。-1 から -9（最も遅い）を選択してスキャナーに給紙するページの速度を調整します。この調整はスキャナーの搬送速度には影響しません。



- **300dpi 以上**：以下のオプションの 1 つを選択できます。

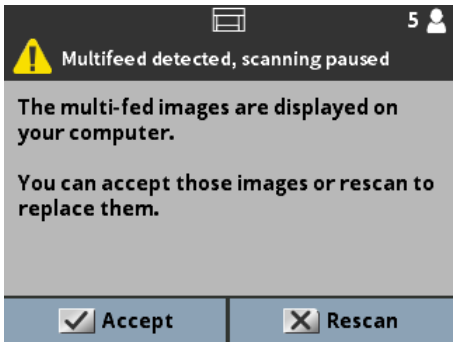


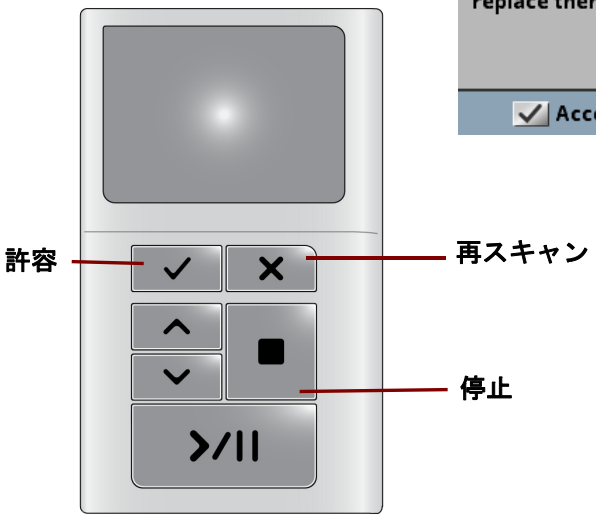
  - **最高品質 —** スキャナーは低速で動作し、最高品質のイメージを生成します。
  - **最高速度 —** スキャナーは高速で動作し、良質のイメージを生成します。

4. **[選択]** ボタンを押してから、**[戻る]**（X）ボタンを押すと、[アプリケーションの上書き] 画面に戻ります。

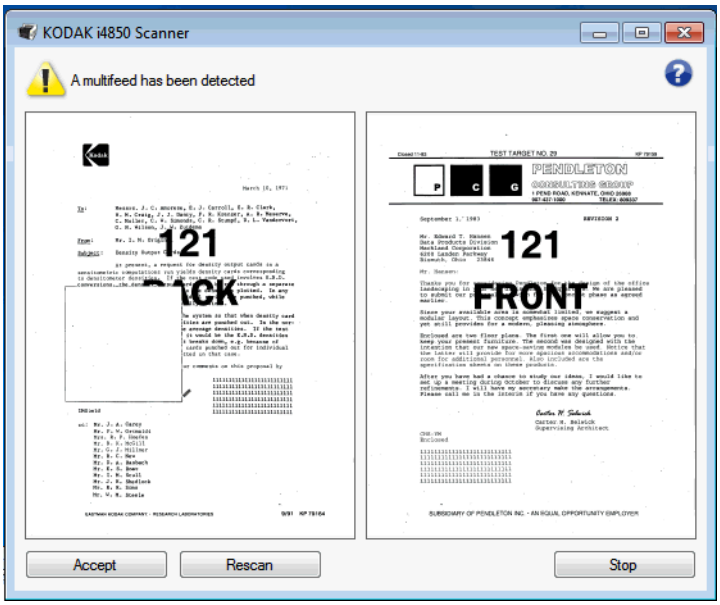
重送原稿の検証

重送が発生し、[**重送検知**] をオンにしている場合、スキャナーが停止し、以下の画面を表示します。画像をそのまま許容するか、再スキャンします。





- イメージは PC に見やすく表示されます。



- 表示通りのイメージを許可する場合、**[許容]** を選択するとスキャナーは引き続きスキャンします。
- 原稿を再スキャンする場合、**[再スキャン]** を選択して入力エレベータに原稿を戻し、原稿が再スキャンされます。
- オペレータコントロールパネルの **[停止]** ボタンを押すと、PC に表示されるイメージは無視されてスキャンセッションは終了します。

スキャンアプリケーションの選択

Kodak Alaris では、スキャナーに次の 2 つのスキャンアプリケーションが添付されています。スマートタッチ、および *Kodak* Capture Pro Software Limited Edition。

Kodak Capture Pro Software Limited Edition は直観的で使いやすいキャプチャソフトウェアアプリケーションです。スキャンした原稿の処理と共有をシンプルにすることを重視して設計されています。*Kodak* Capture Pro Software Limited Edition は箱から出してすぐに使用でき、1 枚の原稿から大規模なバッチまで、分散または部門別環境でスキャン、編集、出力できます。

簡単で生産性の高いスキャンに必要な機能を持つ *Kodak* Capture Pro Software Limited Edition は、イメージおよびデータの高度なスキャン自動化機能を多数搭載している *Kodak* キャプチャプロソフトウェアのデザインとインタフェースを共有しています。

アイコンベースのツールなどの機能一式を取り揃え、Kodak キャプチャプロソフトウェアリミテッドエディションはシンプルなスキャンを実現します。すばやく、簡単にファイルへのスキャン出力をはじめ、検索可能な PDF の作成や、情報を Microsoft SharePoint などの共有先へ統合できます。

Kodak i4x50 シリーズスキャナーも *Kodak* キャプチャプロソフトウェアを使用できます。詳細については、www.AlarisWorld.com/go/capturepro を参照ください。

スマートタッチ機能は*ボタンを押すだけの簡単操作でその他の操作を行える*デジタルドキュメントの整理への対応策です。スマートタッチ機能を使えば、多様な出力形式でドキュメントを整理できます。

- 指定のフォルダに保存
- 電子メールの添付ファイルとして
- MS SharePoint サーバーへ
- ネットワークプリンタへ
- 他のデスクトップアプリケーションへ

人気のファイル形式は次のとおりです。PDF、TIFF、JPEG、RTF、BMP、検索可能な PDF

9 つの事前設定されたタスクのショートカットを使用できます。ショートカットを変更したり、名前を変更して、独自のタスクを作成できます。送信する前に、イメージをプレビューして簡単に編集（ズーム、回転、クロップなど）できます。

スマートタッチの詳細については、スキャナーに付属されている CD の *ドキュメント* フォルダを参照するか、以下のサイトにアクセスしてください。www.AlarisWorld.com/go/smarttouch.

Kodak i4x50 シリーズスキャナーは、各メーカーのスキャンアプリケーションでサポートされています。アプリケーションのサポートについては、各メーカーにお問い合わせください。

4 ドキュメントの印字

プリンタアクセサリ

この章では、オプションの *Kodak* プリンタアクセサリの使用について説明します。この印字オプションを使用するには、プリンタアクセサリを購入し、インストールする必要があります。プリンタアクセサリに付属している説明書を読んで、このアクセサリのインストール手順を確認してください。

印字および設定の詳細については、CD に収録されている *TWAIN データソース*、または *ISIS ドライバ*の『スキャンセットアップガイド』、ご使用のスキャンアプリケーションのマニュアルを参照してください。

注意： *Kodak* i4x50 シリーズスキャナーはデジタル印字機能も備えており、追加購入は必要ありません。デジタル印字機能は物理プリンタと同じオプションすべてを備えていますが、物理ページへ印字せず、情報はイメージファイルへ組み込まれます。デジタル印字の詳細については、*TWAIN データソース*または *ISIS ドライバのスキャンセットアップガイド*を参照してください。

拡張プリンタは、スキャナーの最高速度で動作します。印字内容として、日付、時刻、原稿カウンタ値、固定文字列を使用できます。

印字文字列はバッチ名、オペレータ名など、どの原稿に対しても同じになる固定情報と、原稿のシーケンシャルカウンタなど、スキャンするページごとに異なる可変情報の両方を組み合わせて設定できます。

プリンタの制御および機能はすべて TWAIN データソースまたは ISIS ドライバから設定できます。

注記：

- スキャンセッションを開始する前に印字を有効にして、インクカートリッジを取り付けておく必要があります。
- プリンタの使用時には、スキャナーの搬送路部品を毎日清掃してください。
- 長さが 10cm 以下の原稿には印字できません。
- 印字を有効に設定してスキャンするときに、インクカートリッジを装備していないとエラーが表示されます。

プリンタの仕様

以下の仕様の詳細については、『TWAIN データソース、または ISIS ドライバのスキャンセットアップガイド』を参照してください。

特性	説明
最大行数	1
最大文字数	40 文字（スペースを含む）
印字位置（横方向）	8 箇所、手動設定
印字位置（垂直方向）	スキャンアプリケーションで設定
印字方向	0、90、180、270 度
フォントサイズ	標準、太字、極太 注記：文字の複雑さにより、半角カナなどでは、太字フォントがサポートされていない言語もあります。
印字面	表面（スキャン前に印字）
原稿の先端からの最小印字開始位置	0.89 cm (0.35 インチ)
インクカートリッジ	黒：HP-C6602A 赤：HP-C6602R
インクカートリッジ 1 個あたりの印字可能文字数	最大 1,500,000 ～ 2,000,000（使用するフォントサイズ等に依存）
使用可能な固定文字フィールド	アプリケーションを使ったユーザー指定のメッセージ
使用可能な可変フィールド	最大9桁の連続した原稿番号またはパッチ番号（i4850 スキャナーのみ）、日付、4 桁の時刻
サポートされる言語	すべての表音言語に対応します。例：オランダ語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語、日本語（半角カタカナ）、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、ロシア語、トルコ語、チェコ語、韓国語

インクカートリッジの取り付け / 交換

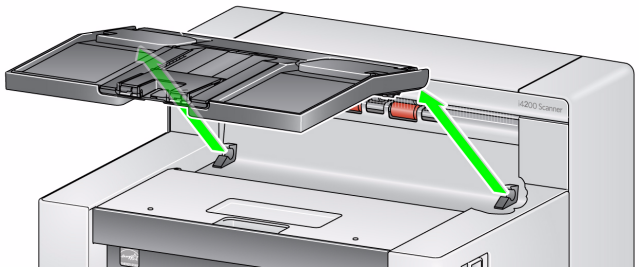
プリンタを使用する前に、インクカートリッジを取り付ける必要があります。オーダー情報については、第 5 章の「アクセサリと消耗品」のセクションを参照してください。

取り付け後、以下の状況が発生した場合は、インクカートリッジを交換する必要があります。

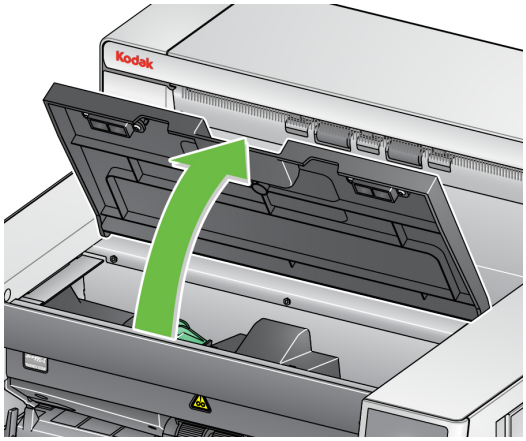
- 印字が薄い、または不均一な場合
- 文字が欠落している場合
- 印字テストで印字品質が不均一の場合
- 清掃を実施しても印字品質が向上しない場合

重要：空のインクカートリッジの廃棄は、国や地域の法律に従ってください。

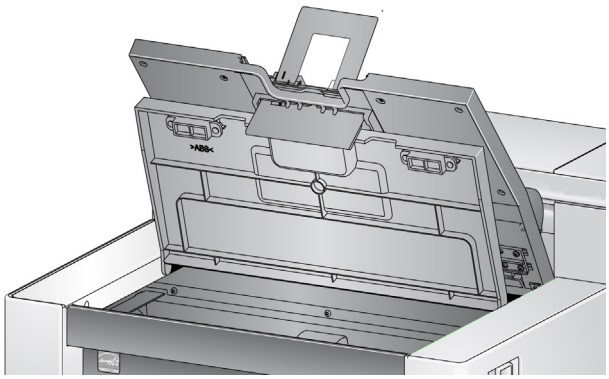
1. 出力トレイを取り外します。



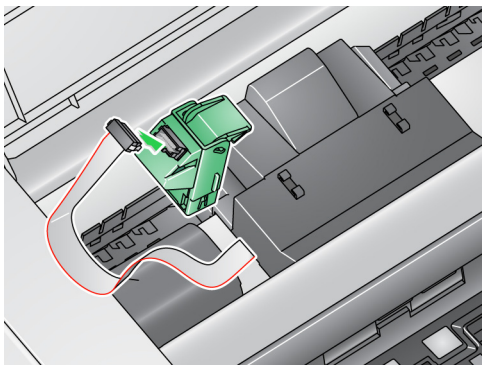
2. プリンタアクセスカバーを開けます。



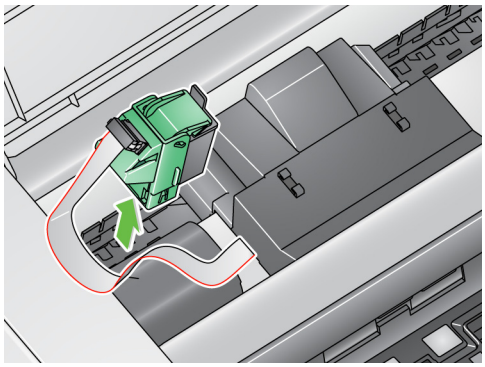
注意： 出力トレイを取り外さない場合は、出力トレイの前面部を持ち上げてから、プリンタアクセスカバーを高さの調節タブの後ろに来るように持ち上げます。



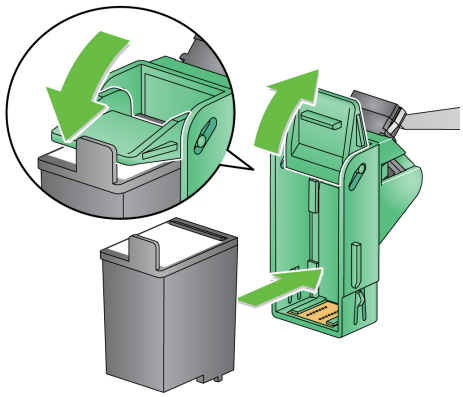
3. 初めてインクカートリッジを取り付ける場合、プリンタケーブルのコネクタをインクカートリッジホルダにしっかりと押し込みます。



注意： インクカートリッジを交換する場合はプリンタケーブルがすでに接続されているので、取り付け場所からインクカートリッジホルダを取り出して、空のインクカートリッジを取り外します。



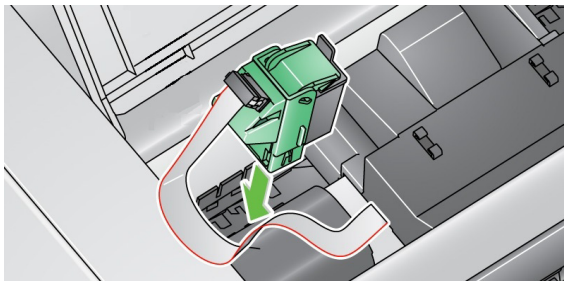
4. インクカートリッジのパッケージを開き、新しいインクカートリッジからシールをはがします。
5. プリンタカートリッジの緑のタブを持ち上げ、プリンタキャリア内にインクカートリッジをスライドし、タブを閉じます。



注記：

- プリンタケーブルが外れている場合は、元の位置に接続してください。
- **インクカートリッジの廃棄**：HP（ヒューレット・パッカード社）の Web サイトを参照し、地域の法規に従って、プリンタの消耗品のリサイクルまたはインクカートリッジの廃棄を行ってください。

6. インクカートリッジホルダを適切な位置に取り付けます。詳細については、この章の後半にある「印字位置の変更」を参照してください。

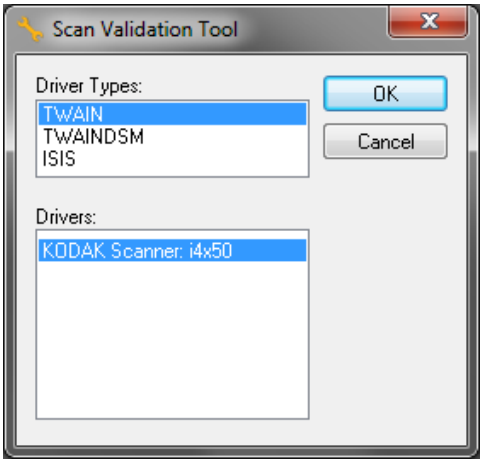


7. プリンタアクセスカバーを閉めて、出力トレイを再度取り付けます。
8. 印字テストを実行します（次のセクションを参照）。

印字テストの実行

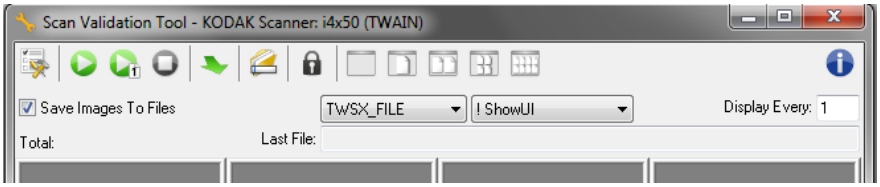
オペレータコントロールパネルの [印字テスト] オプションで印字テストを実行するか（第 3 章「印字テストの実行」を参照）、または Scan Validation Tool（SVT）を使用します。

1. 入力エレベータに白紙をセットします。
2. インクカートリッジが正しく取り付けられていることを確認します。
3. **[スタート]>[プログラム]>[Kodak]>[原稿のイメージング]>[i4x50]** の順

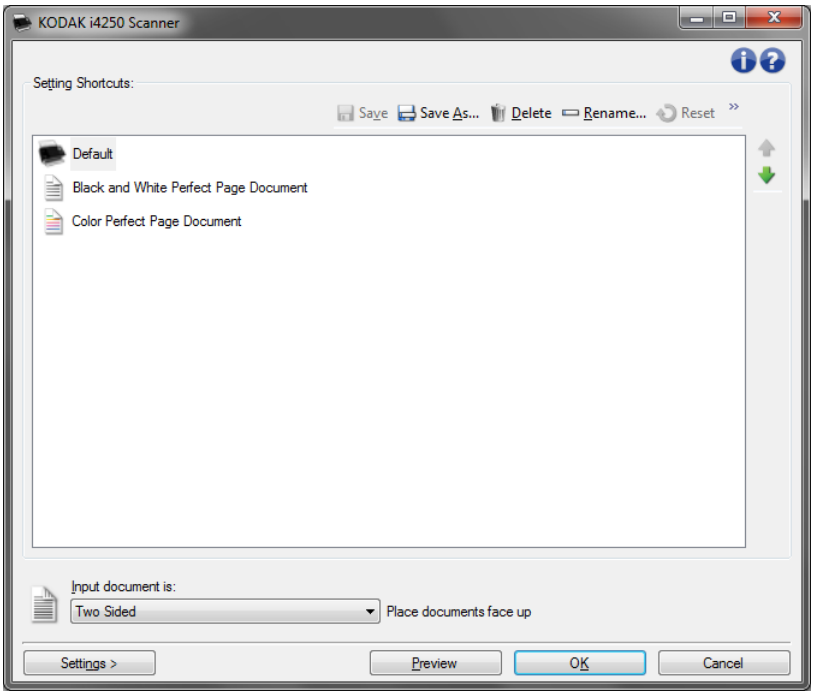


に選択します。

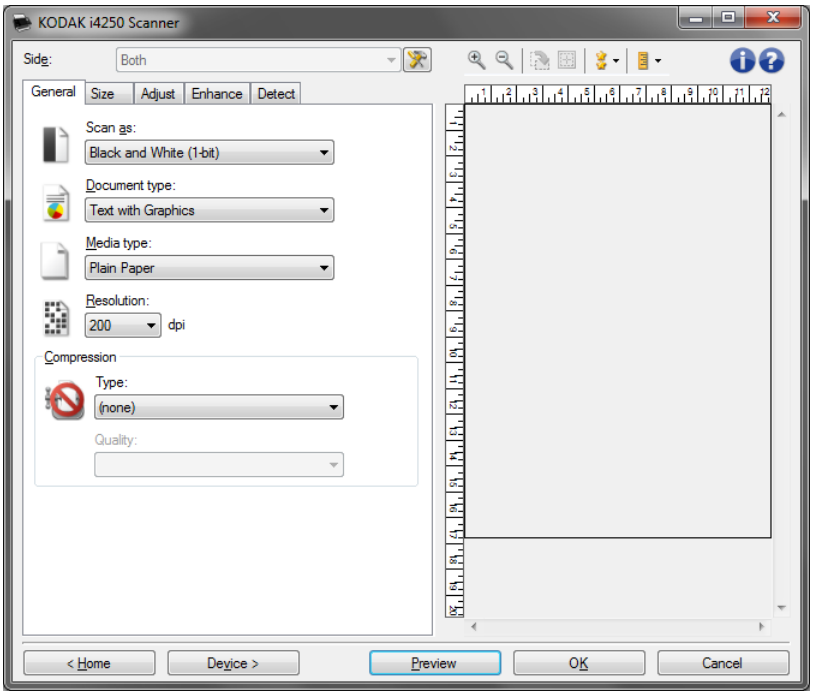
4. ドライバの種類から **[TWAIN]** を選択し、ドライバから **[KODAK Scanner: i4x50.]** [Scan Validation Tool] ダイアログボックスが表示されます。



5. **[セットアップ]**  アイコンをクリックします。[Scan Validation Tool] メインウィンドウが表示されます。

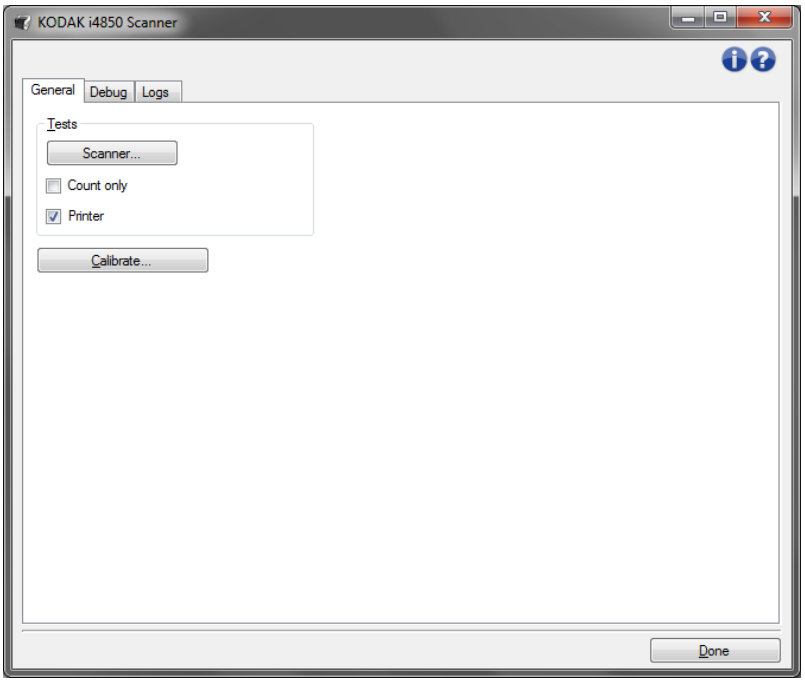


6. **[デフォルト]** の ショートカットを選択し、**[設定]** をクリックします。

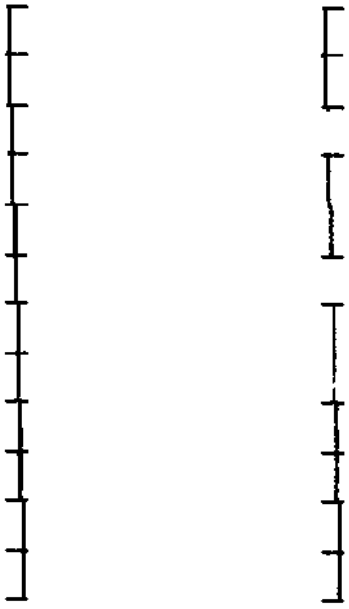


7. [一般] タブで **[デバイス]** ボタンをクリックします。

8. [デバイス] - [一般] タブで **[診断]** ボタンをクリックします。[一般 - 診断] ウィンドウが表示されます。



9. **[プリンタ]** チェックボックスを有効にして、**[完了]** をクリックします。
10. 入力エレベータに白紙をセットしてスキャンします。
11. テストパターンの品質を確認します。テストパターンにむらがある場合、インクカートリッジの底にあるプリントヘッドのクリーニングまたはインクカートリッジの交換が必要です。



許容できる

許容できない：パターンにむらがある

注意： インクカートリッジをインクカートリッジホルダから取り外して、湿った布で軽く拭いてください。

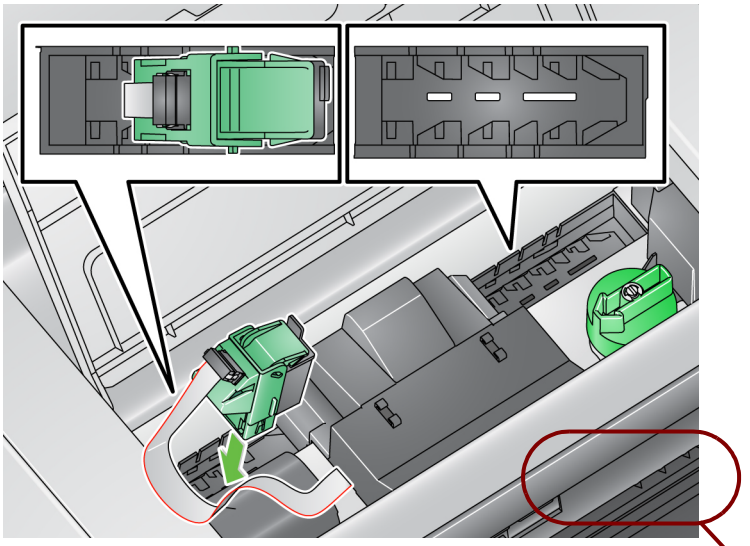
印字位置の変更

印字の横位置は手動で変更する必要があります。

1. 出力トレイを取り外します。
2. プリンタアクセスカバーを開けます。

   注記：
   - 水平方向の印字位置は、プリンタレール上の小さなつめで確認できます。
   - 情報がすべて印字されていなくても、印字は原稿の後端から約 1.27cm のところで自動的に停止します。
3. インクカートリッジホルダを持ち上げ、取り外します。
4. インクカートリッジホルダを適切な位置の溝に合わせて正しく取り付けます。

   注意： 入力エレベータ先端の印字位置インジケータを見て、印字の横位置を確認できます。

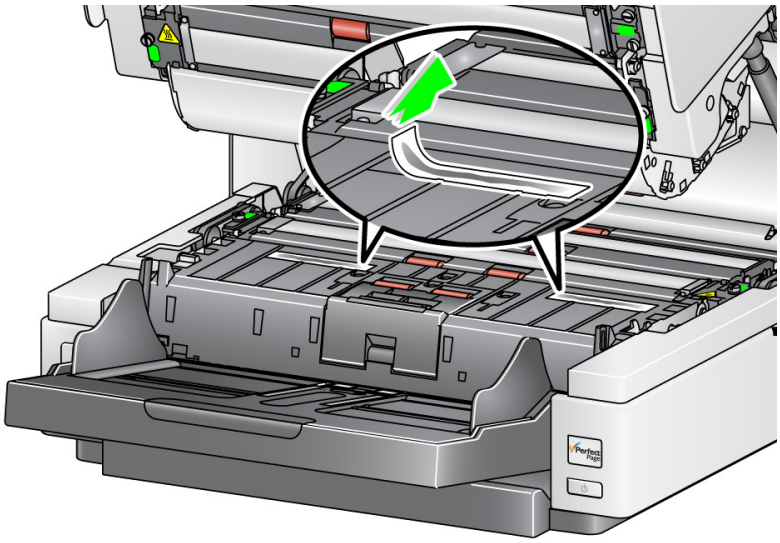


5. プリンタアクセスカバーを閉めて、出力トレイを再度取り付けます。

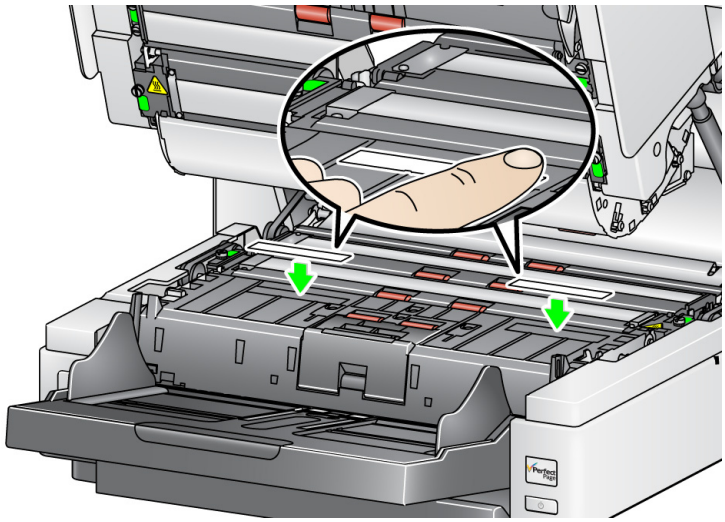
インクブロッタの取り付け / 交換

スキャナーを設置するときに、2 枚のインクブロッタをインクブロッタチャネルに貼り付けます。これらをスキャナーの搬送部に取り付けることで、インクの漏れを吸収します。予備のインクブロッタストリップを注文するには、第 5 章の「アクセサリと消耗品」のセクションを参照してください。

1. スキャナーカバーリリースラッチを手前に引いて、スキャナーカバーを解除して持ち上げます。
2. 2ヶ所のインクブロッタチャネルの位置を確認します。インク吸い取りストリップをチャネルに取り付けます。
3. インクブロッタを交換する場合は、ステップ 4 に進んでください。それ以外の場合は、手順 5 に進みます。
4. ブロッタをチャネルからはがし、地域の法規に従って使用済みストリップを破棄します。



5. 新しいインクブロッタの台紙をはがします。
6. 片方のチャネルにインクブロッタを取り付けます。



注意： インクブロッタを正しく取り付けないと、紙詰まりの原因になります。

7. インクブロッタの糊の付いている面をチャネル内にしっかりと押しつけます。

8. もう一つのブロッタにも手順 4 ～ 7 を繰り返します。
9. スキャナーカバーを閉めます。

問題解決

プリンタ使用時に発生した問題への対処方法については、以下のリストを参考にしてください。

問題	解決方法
印字の品質が悪いまたは一定していない	• インクカートリッジが空でないことを確認します。 • インクカートリッジが正しく取り付けられていることを確認します。 • インクカートリッジが正しい位置にあることを確認します。 • スキャンアプリケーションでプリンタが有効になっているか、また印字文字列が指定されているか確認します。 • プリンタコネクタが確実に固定されていて、プリンタケーブルがしっかりと接続されているか確認します。 • 印字テストを実行して、すべてのインクジェットが正常に機能していることを確認します。この章の前半の「印字テストの実行」のセクションを参照してください。 • インクカートリッジの底にあるプリントヘッドをクリーニングします（下の「プリントヘッドの乾燥による印字開始時の問題」を参照）。
プリントヘッドの乾燥による印字開始時の問題	スキャナーからインクカートリッジを外し、インクカートリッジの下部にあるプリントヘッドのインクジェット部分を濡れた布で軽く叩いた (注：拭かないでください) 後に、インクカートリッジを取り付け、再度挿入してください。
印字しない	• スキャンアプリケーションで印字が有効になっていることを確認します。 • 目的の印字位置にあり、インクカートリッジが正しく取り付けられていることを確認します。 • プリントヘッド（インクカートリッジの底）からテープが外されていることを確認します。
印刷しようとすると、オペレータコントロールパネルにエラーメッセージが表示される	• インクカートリッジが取り付けられていません。

5 メンテナンス

章の概要

この章では、*Kodak* i4250、i4650、i4850 スキャナーに必要な清掃とメンテナンスの手順について説明します。これらの手順の頻度はスキャン環境、用紙、イメージ処理の要件によって異なります。スキャンの量が多い場合は、スキャナーの清掃および消耗品の交換の頻度も多くなります。スキャンの量が少ない場合、これらの作業の頻度も少なくなります。次のページの「清掃頻度チャート」を参照して、清掃の目安にしてください。ただし、最良の方法はご自身で判断してください。Kodak は、スキャンが実際に行われている現場に長年立ち会ってきました。その経験から、スキャナーの正しい清掃とメンテナンスによって、より少ない時間でより多くの原稿をスキャンでき、問題も防止できることが確認されています。正しくメンテナンスをすれば、i4250、i4650、i4850 スキャナーを長期間に渡って問題なく使用できます。

スキャナー消耗品（タイヤ、プリセパレーションパッド等）および清掃用品は、スキャナーサプライヤから入手できます。消耗品はさまざまなサイズのキットとして販売されています。これらのキットではタイヤ、ローラ、プリセパレーションパッドなどが適切に組み合わされているため、推奨の割合で簡単に交換できます。たとえば、タイヤを交換してもセパレーションローラアッセンブリを交換しなければ、スキャナーの処理能力は必然的に低くなります。消耗品を推奨頻度で交換することで、処理能力を最大化することができます。

清掃頻度チャート

推奨する清掃の順序は、スキャナーの搬送路の掃除機がけ、フィードモジュールタイヤ、セパレーションローラタイヤ、ドライブローラの汚れの拭き取り、イメージングガイドの拭き取りです。スキャナーのクリーニング頻度については、以下のチャートで確認してください。

手順	使用開始時	作業中	休憩中 (新規作業前)
出力トレイと入力部（入力エレベータと搬送路）を掃除機で清掃します	x		
全ローラを清掃	x		x
搬送路を掃除機でクリーニングします	x	x	x
トランスポートクリーニングシートを使用します	x		x
イメージングガイドのクリーニング（基本）		x	x
イメージングガイドのクリーニング（完全）	必要に応じて縞状の汚れを取り除きます。		

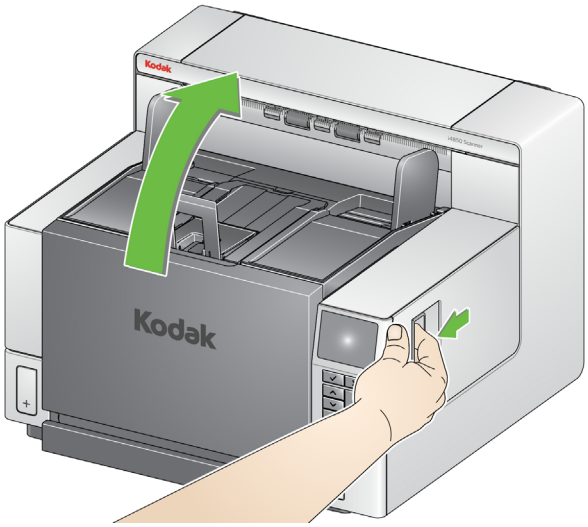
清掃用品

スキャナーの日常的なメンテナンスを行うときには、以下の清掃用品のみを使用してください。他の清掃用品を使用すると、スキャナーに損傷を与える場合があります。

- *Kodak デジタルサイエンス*トランスポートクリーニングシート
- *Kodak* ローラクリーニングパッド
- *Kodak* スキャナー用静電クリーニングクロス（*静電クリーニングクロスはすべての国で利用できるとは限りません*）
- *Kodak* スキャナー用イメージングガイド クリーニング セット
- 掃除機およびツール

スキャナーカバーの開け方

1. スキャナーの電源を切ります。
2. 入力エレベータ、搬送路、出力トレイから原稿を取り除きます。
3. スキャナーカバーのリリースラッチを手前に引きます。スキャナーカバーが少し開きます。カバーを持ち上げて、内部部品にアクセスできるよう完全に開きます。



4. スキャナーの清掃や消耗品の交換が終わったら、スキャナーカバーを両手で閉じます。

清掃手順

最適な画質を保つには、定期的にスキャナーを清掃して予防的なメンテナンスを施す必要があります。

重要：スキャナーを開いて清掃する前に、スキャナーの電源を切ってください。

原稿の種類によっては紙粉やゴミが通常より多く発生するため、より頻繁に清掃する必要があります。

スキャナーの清掃や消耗品を交換する前に、以下を参照してください。

- フィードモジュールおよびセパレーションローラのゴムタイヤに付着するゴミは問題ありません。タイヤのカスは必ずしもタイヤの磨耗具合や損傷を意味するものではありません。清掃後、タイヤを点検し、必要に応じてセパレーションローラまたはフィードモジュールを交換してください。
- ローラやタイヤを清掃した場合は、ローラやタイヤが完全に乾いてからスキャンしてください。
- 推奨する清掃用品以外は使用しないでください。未承認の洗浄液や溶剤を使用すると、ゴムタイヤに損傷を与える場合があります。
- 密閉された場所でクリーナを使用しないでください。適切な換気が必要です。
- 高熱面にクリーナを使用しないでください。表面の温度が常温に下がってからクリーナを使用してください。
- スプレーや圧縮空気は使用しないでください。圧縮空気を使用すると、紙粉がスキャナーのイメージングシステムに入り込んで画質の問題を引き起こし、カメラを取り外さない限りクリーニングできません。
- スキャナーの近くで可燃性スプレーを使用しないでください。

- 推奨される清掃用品のほかに、掃除機を使用してスキャナーのゴミを取り除くこともできます。

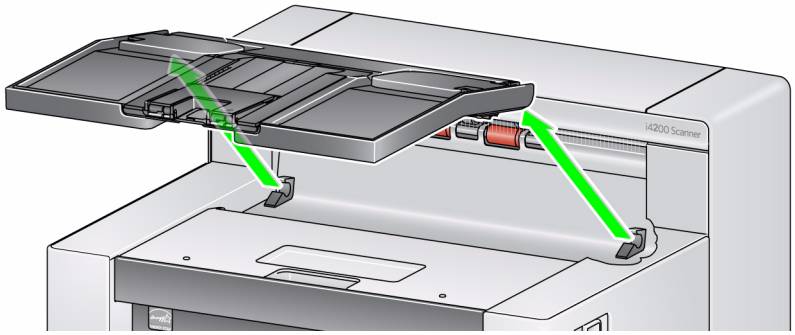
静電クリーニングクロスには、目に刺激を与え、肌の乾燥の原因となるイソプロパノールが含まれています。メンテナンス作業が終わったら、石鹸と水で手を洗ってください。詳細については、安全データシート（SDS）を参照してください。SDS は、Kodak Alaris の Web サイト www.AlarisWorld.com/go/ehs から入手できます。

注意： SDS にアクセスするには、消耗品のカタログ番号が必要です。カタログ番号については、本章後半の「供給品と消耗品」を参照してください。

- ローラクリーニングパッドには、目に刺激を与える可能性のあるラウリル硫酸エーテルナトリウム、およびケイ酸ナトリウムが含まれています。詳細については、SDS を参照してください。

出力トレイと入力エレベータの掃除

1. スキャナーの電源を切ります。
2. 出力トレイを取り外します。

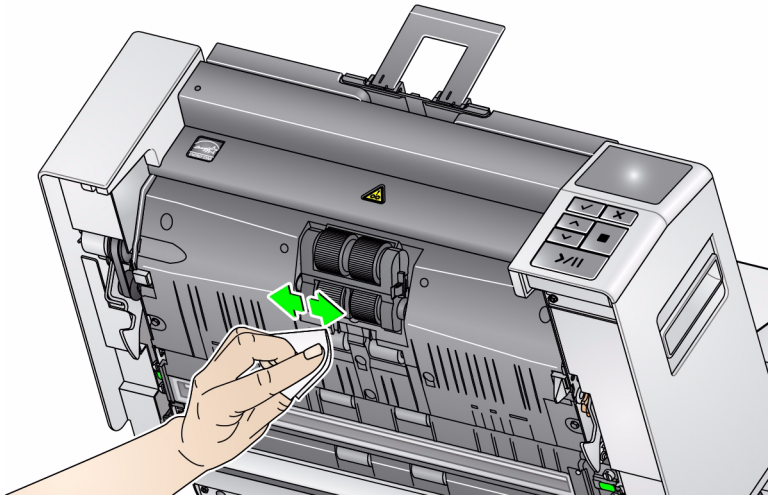


3. 出力トレイ、および入力エレベータの付近を掃除機で完全にクリーニングします。

ローラの清掃

ローラを清掃する場合、搬送部のローラ、セパレーションローラ、フィードモジュールのタイヤをすべて清掃します。

1. スキャナーの電源を切ります。
2. スキャナーカバーを開きます。
3. **ローラクリーニングパッド**を使用して、ローラを手で回転させながら汚れを拭き取ります。



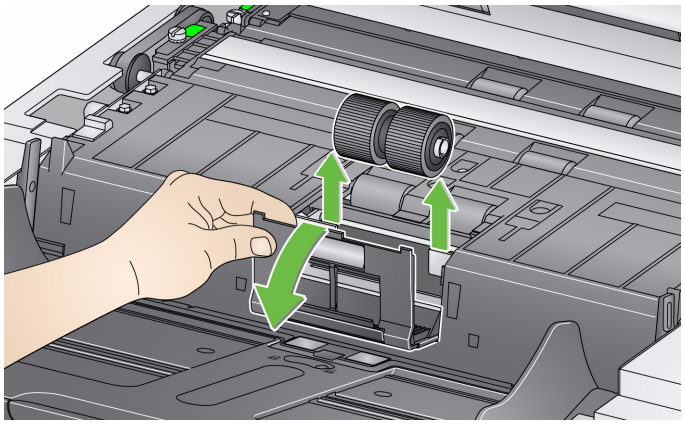
注意： ローラのクリーニングに静電クリーニングクロスまたはイメージングガイド クリーニング セットを使用しないでください。

4. 糸くずの出ない布でローラを乾拭きします。

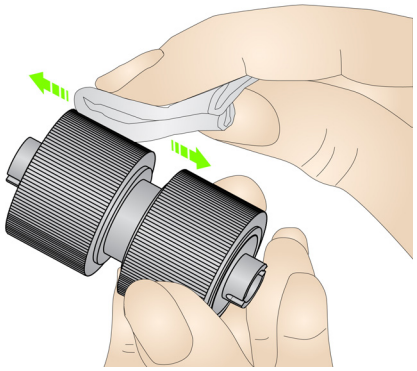
セパレーションローラタイヤの清掃

5. セパレーションパッドホルダを手前に引き、セパレーションローラを取り外します。

   注意： セパレーションローラのカバーはスプリングで留められています。セパレーションローラのカバーを引き上げ、セパレーションローラを取り外してから、ローラのカバーをゆっくりと元に戻します。



6. セパレーションローラタイヤを手で回転させながら、ローラクリーニングパッドで拭いてください。溝の間にあるゴミを取り除くように、溝に沿って拭くことがポイントです。

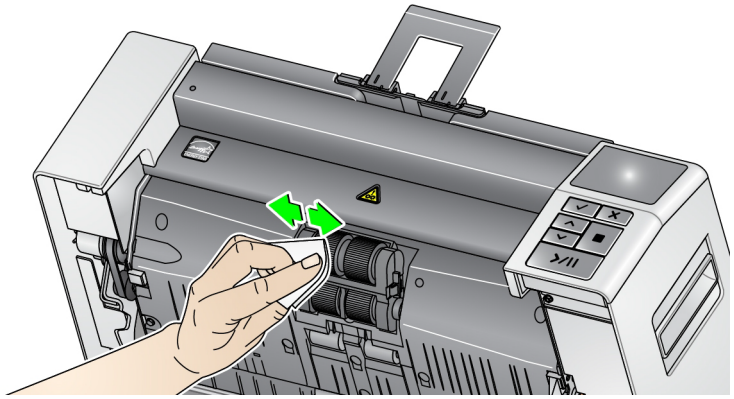


7. タイヤを点検します。タイヤに磨耗または破損の兆候が見られる場合は、セパレーションタイヤを交換します。この章で後述する「交換の手順」を参照してください。
8. セパレーションローラの溝とホルダを合わせて、ローラを取り付けます。

フィードモジュールタイヤの清掃

9. フィードモジュールタイヤは手で回しながら、**ローラクリーニングパッド**で拭きます。溝の間にあるゴミを取り除くように、溝に沿って拭くことがポイントです。タイヤを清掃するときに、フィードモジュールを取り外す必要はありません。

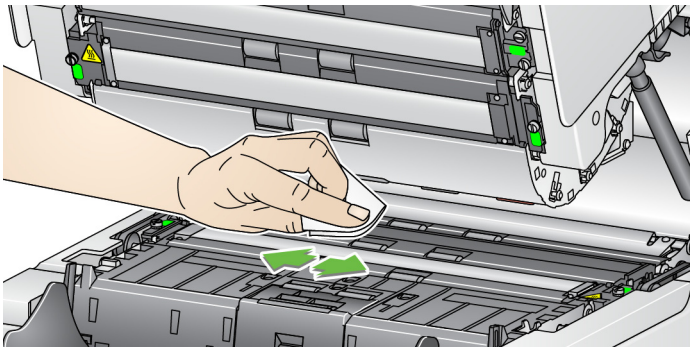
   注意： フィードモジュールのタイヤのクリーニングに静電クリーニングクロスまたはイメージングガイド クリーニング セットを使用しないでください。



10. タイヤを点検します。タイヤに磨耗または破損の兆しが見られる場合は、フィードモジュールタイヤを交換します。この章で後述する「交換の手順」を参照してください。

フリップ型ホワイトバックグラウンドストリップの清掃方法

1. スキャナーの電源を切ります。
2. スキャナーカバーを開きます。
3. 静電クリーニングクロス、または「ステップ 1」のイメージガイド クリーニング セットを使用して上下のバックグラウンドストリップを拭きます。

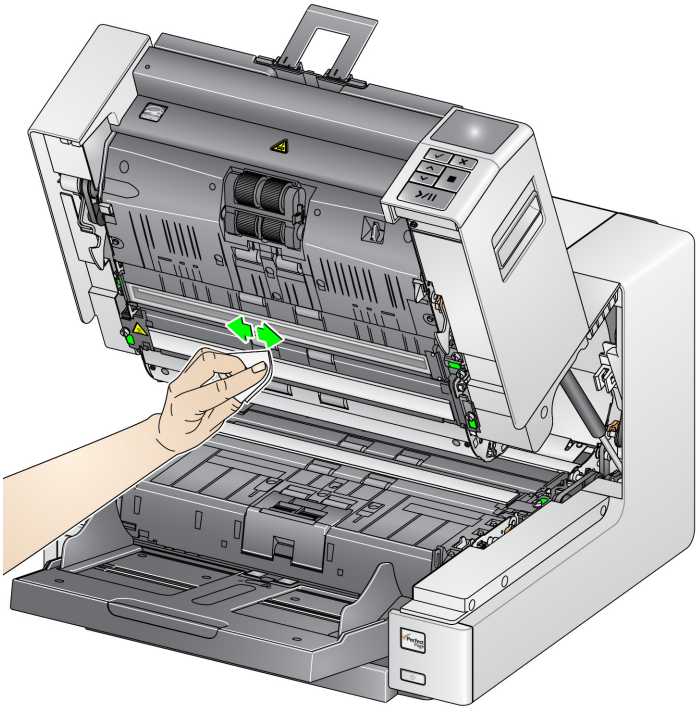


   注意： 搬送路のローラに触れないように注意してください。

4. 乾いた静電ワイプか「ステップ 2」のイメージングガイド・クリーニング・セットを使って、上下のバックグラウンドストリップを乾拭きし、縞状の汚れを拭き取ります。

イメージングガイドの清掃（基本）

1. スキャナーの電源を切ります。
2. スキャナーカバーを開きます。
3. 静電クリーニングクロス、または「ステップ 1」のイメージガイド クリーニング セットを使用して上下のイメージングガイドを拭きます。



4. 乾いた静電ワイプか「ステップ 2」のイメージングガイド・クリーニング・セットを使って、上下のイメージングガイドを乾拭きし、縞状の汚れを拭き取ります。
5. スキャナーカバーを閉めます。

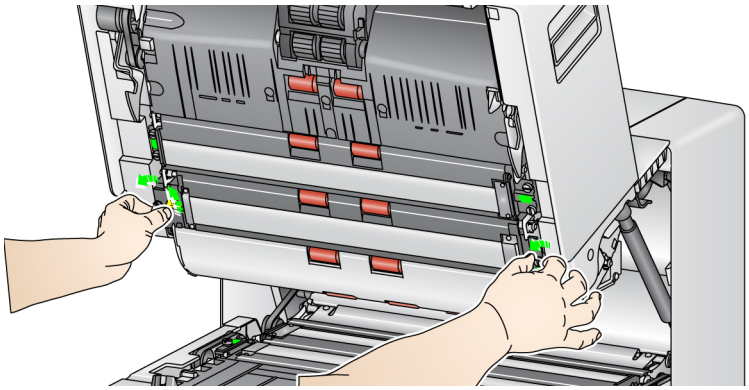
イメージングガイドの清掃（完全）

必要な場合にのみイメージングガイドを徹底的に清掃することをお勧めします。

注意： 清掃時には、イメージングガイドに指紋を付けないように、緑色のタブの所を持つようにしてください。

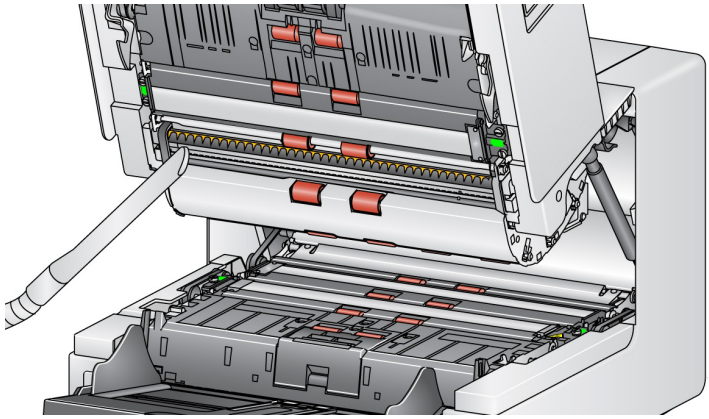
上部イメージングガイド

1. スキャナーの電源を切ります。
2. スキャナーカバーを開きます。
3. 上部イメージングガイドの両端にあるネジを左に回し、イメージングガイドを取り外します。イメージングガイドを注意しながら脇に置きます。



4. 注意しながら、LED の間を掃除機で吸い取ります。

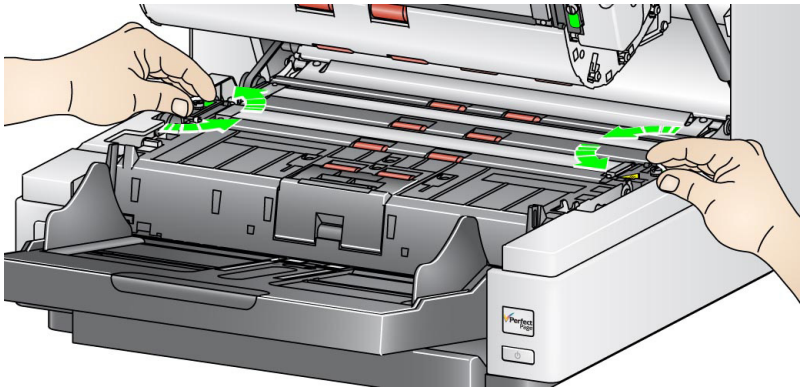
   重要： 損傷を引き起こす原因になるため、LED には触れないようにしてください。光学部スキャンモジュールの反射鏡に傷をつける可能性があるため、LED 領域には何も入れないようにしてください。



5. イメージングガイド内側と外側の両方を静電クリーニングクロスまたは「ステップ 1」のイメージガイドクリーニングセットで十分に拭きます。
6. 乾いた静電クリーニングクロス、または「ステップ 2」のイメージガイドクリーニングセットを使用して、イメージングガイドをもう一度乾拭きし、縞状の汚れを拭き取ります。
7. 上部イメージングガイドを取り付けます。

下部イメージングガイド

8. 下部イメージングガイドの両端にあるネジを左に回し、イメージングガイドを取り外します。イメージングガイドを注意しながら脇に置きます。



9. 注意しながら、LED の間を掃除機で吸い取ります。

   重要： 損傷を引き起こす原因になるため、LED には触れないようにしてください。光学部スキャンモジュールの反射鏡に傷をつける可能性があるため、LED 領域には何も入れないようにしてください。

10. イメージングガイドの上部と下部の両方を静電クリーニングクロスまたは「ステップ 1」のイメージガイドクリーニングセットで十分に拭きます。
11. 乾いた静電クリーニングクロス、または「ステップ 2」のイメージガイドクリーニングセットを使用して、イメージングガイドをもう一度乾拭きし、縞状の汚れを拭き取ります。
12. 下部イメージングガイドを取り付けます。
13. スキャナーカバーを閉めます。
14. すべての清掃手順を完了したら、スキャナーの電源を入れます。

トランスポートクリーニングシートによる清掃

搬送路は、トランスポートクリーニングシートを数回通して清掃する必要があります。

1. トランスポートクリーニングシートの台紙を取り除きます。
2. サイドガイドを最大位置まで広げます。
3. 入力エレベータの中央にトランスポートクリーニングシートを横長にセットします。このとき、粘着面を上にしてください。
4. オペレータコントロールパネルの [診断] メニューの **[カウントのみ]** オプションを使用して、スキャナーにシートを通します。
5. 出力トレイからトランスポートクリーニングシートを取り出し、今度は粘着面を下にセットしてスキャンします。

注意： このシートが汚れたり粘着力が低下したら、廃棄して新しいシートを使用します。

清掃の最終手順

トランスポートクリーニングシートによる清掃が完了したら、次の作業を行ってください。

1. スキャナーの電源を切ります。
2. スキャナーカバーを開きます。
3. 上下イメージングガイドの表面を、糸くずの出ない布で拭きます。
4. スキャナーカバーを閉じて、テスト用原稿をスキャンして、画質を確認します。

交換手順

ここでは、次の部品の交換手順について説明します。交換頻度については、以下の説明を参考にしてください。

重要：スキャナーを開いて部品を交換する前に、スキャナーの電源を切ってください。

- **フィードモジュールタイヤおよびセパレーションローラタイヤ** — タイヤの寿命は、用紙の種類や環境、清潔さにより異なります。タイヤの公称寿命はおよそ原稿500,000枚ですが、実際は条件によって異なります。フィーダの性能の低下や、重送、紙詰まりなどが発生する場合は、タイヤを交換する必要があります。フィードモジュールとセパレーションローラのタイヤはすべて同時に交換してください。
- **フィードモジュールおよびセパレーションローラ** — タイヤを 4 回交換するごとに、新しいフィードモジュールとセパレーションローラに交換することをお勧めします。新しいフィードモジュールとセパレーションローラは同時に交換してください。
- **プリセパレーションパッド** — フィードモジュールとセパレーションローラのタイヤを変更するたびに一度はプリセパレーションパッドを変更することをお勧めします。
- **イメージングガイド** — イメージングガイドに傷が付き、イメージに異常がみられる場合は、イメージングガイドを交換してください。

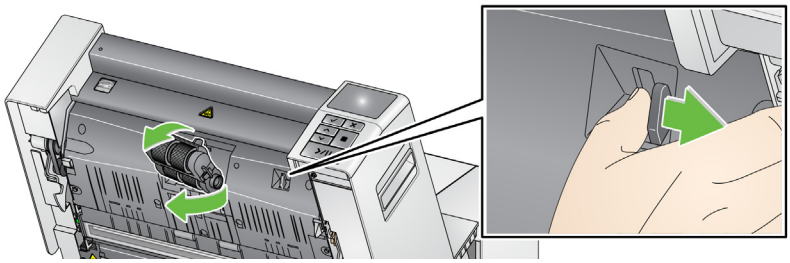
フィードモジュール、フィードモジュールタイヤの交換手順

フィードモジュールの取り外し

フィードモジュールを取り外す方法は 2 つあります。

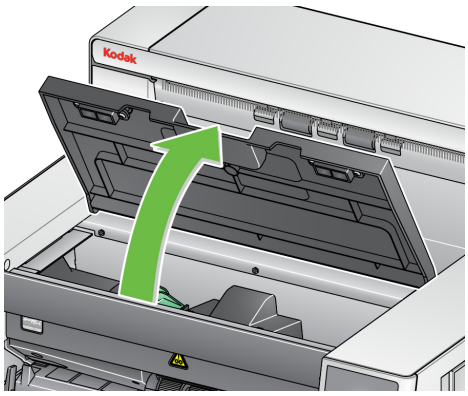
方法 1：

1. スキャナーの電源を切ります。
2. リリースタブを右に押してフィードモジュールをスキャナーから取り外します。

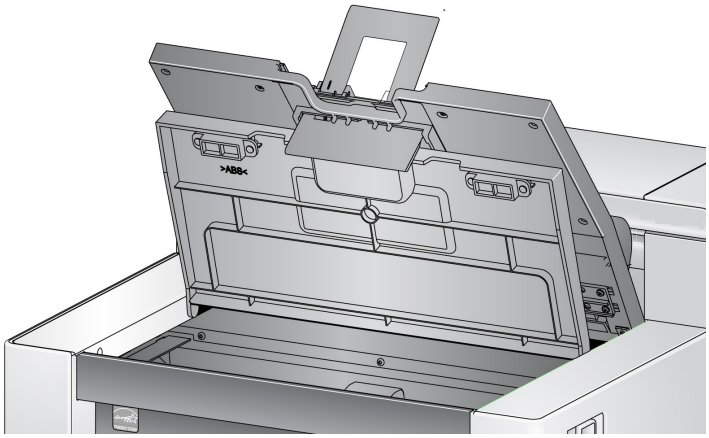


方法 2：

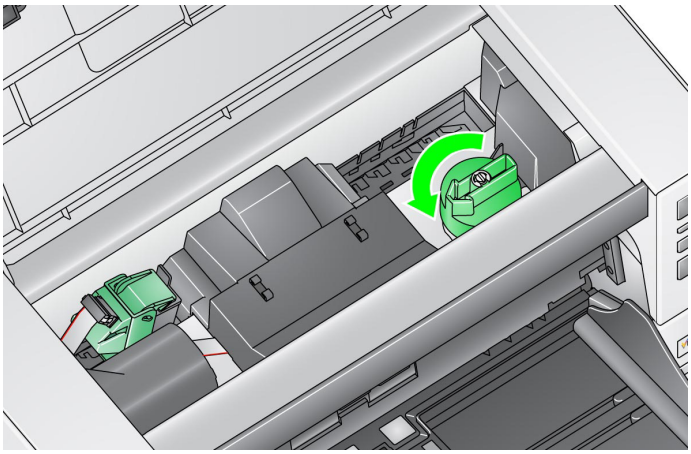
1. スキャナーの電源を切ります。
2. 出力トレイを取り外します。
3. プリンタアクセスカバーを持ち上げて開きます。



注意： 出力トレイを取り外さない場合は、出力トレイの前面部を持ち上げてから、プリンタアクセスカバーを高さの調節タブの後ろに来るように持ち上げます。

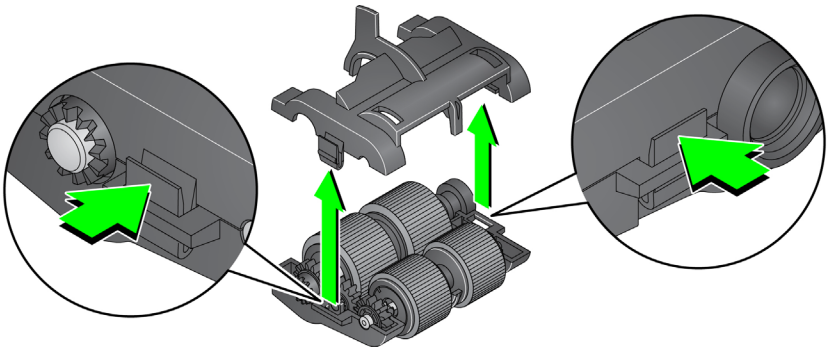


4. フィードモジュールのリリースノブを回し、フィードモジュールを解除します。

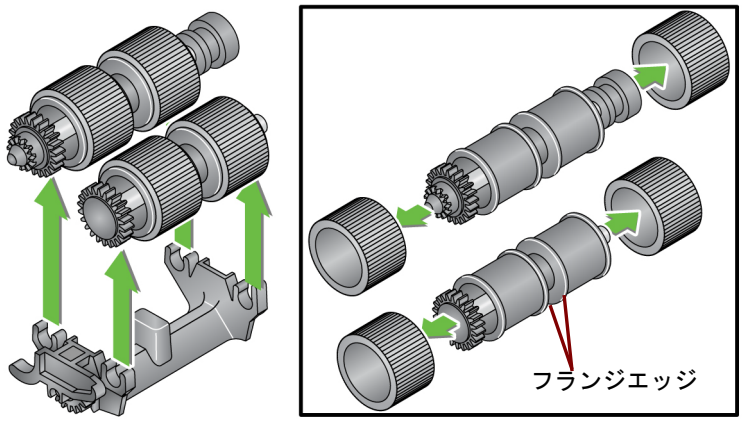


フィード モジュール タイヤの交換

5. フィードモジュール全体を交換する場合は、ステップ 11 に進んでください。タイヤを交換する場合は、ステップ 5 に進んでください。
6. 片手で固定用のタブ（両側に 1 つずつあります）を押しながら、もう一方の手で下部のカバーを押さえます。上部のカバーを引き上げて、ローラーから取り外します。



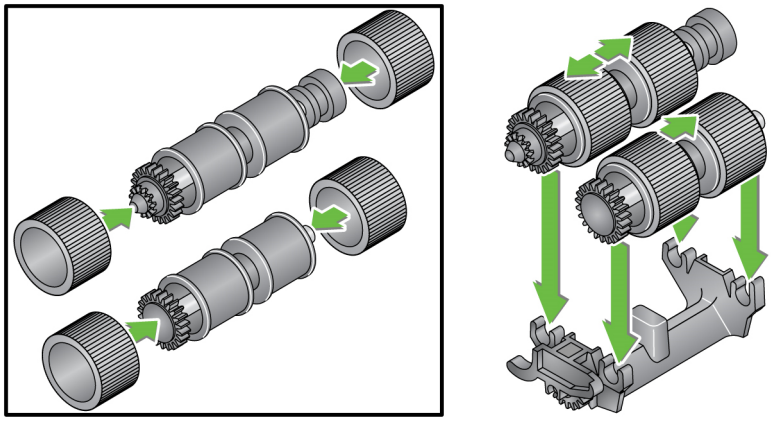
7. タイヤの付いた軸を 2 つとも取り出します。
8. タイヤを軸から外し、各タイヤを交換します。



9. 新しいタイヤを軽く引き伸ばしながら軸に取り付けます。タイヤの取り付け時に、向きを気にする必要はありません。タイヤがフランジエッジと完全に位置合わせされていることを確認します。位置合わせが不適切な場合、タイヤの早期摩耗につながる場合があります。

   重要：タイヤを引き伸ばし過ぎないでください。ちぎれる場合があります。

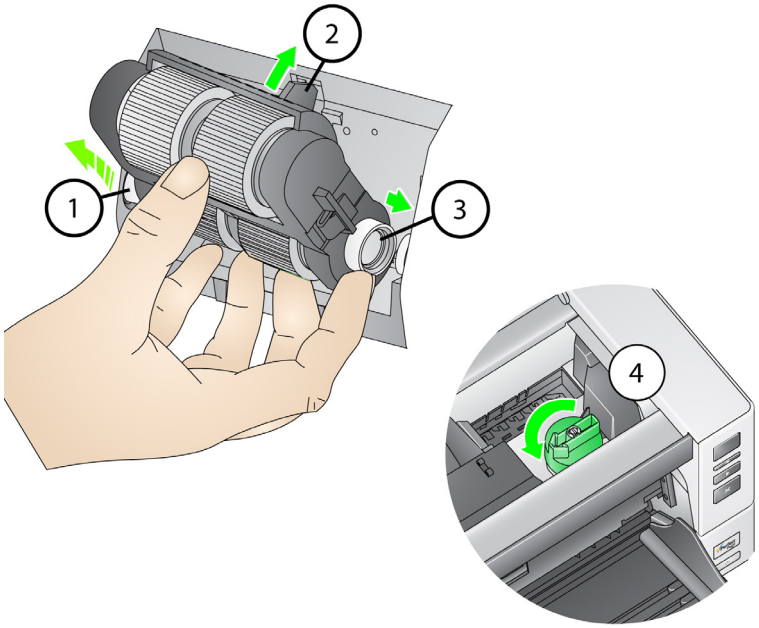
10. 下のフィードモジュールカバーに各コアアセンブリを取り付けて、上のカバーのタブを下のカバーのスロットに合わせます。



11. 所定の位置にカチッと収まるまで、上下のカバーを同時に押し込みます。

フィードモジュールの交換

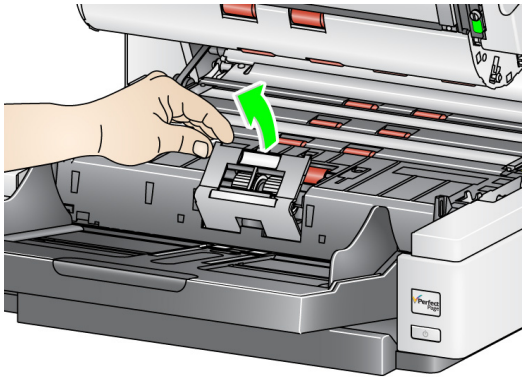
12. フィードモジュールの左側にピンをロッド (1) で挿入し、上部タブ (2) を溝に合わせます。フィードモジュールの右側のピンを溝に合わせ、ロッド（3）を使用し、緑色のフィードモジュールのリリースノブ（4）を回してフィードモジュールを取付けます。フィードモジュールが正しい位置に収まり、取り付け後にスムーズに動くことを確認してください。



13. 方法 2 でフィードモジュールを取り外した場合、スキャナーのカバーとプリンタアクセスカバーを閉じます。
14. 出力トレイを取り付けます。

セパレーションローラ、セパレーションローラタイヤの交換手順

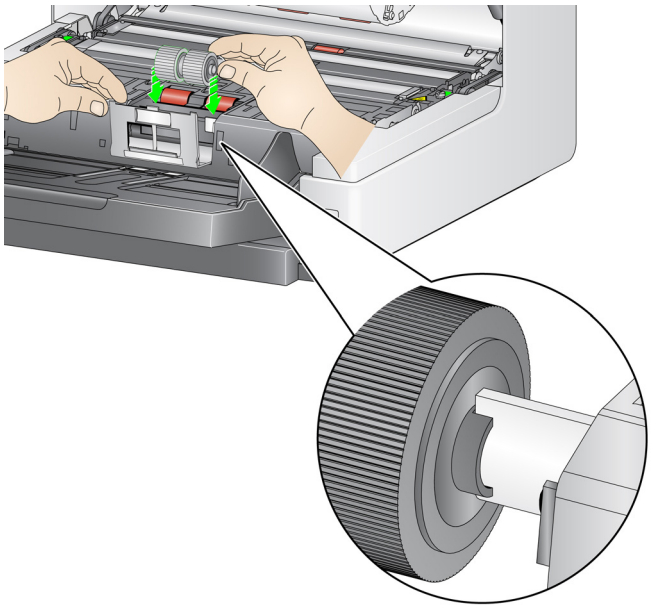
1. スキャナーの電源を切ります。
2. スキャナーカバーを開きます。
3. セパレーションローラのカバーを手前に引き、セパレーションローラを取り外します。



注意： セパレーションローラのカバーはスプリングで留められています。セパレーションローラのカバーを引き上げ、セパレーションローラを取り外してから、ローラのカバーをゆっくりと元に戻します。

セパレーションローラを交換したい場合は、ステップ 4 と 5 を実行します。セパレーションローラタイヤを交換する場合は、ステップ 6 に進んでください。

4. 新しいセパレーションローラを挿入します。セパレーションローラの溝とホルダの位置を合わせてください。



5. ローラーカバーをゆっくりと元に戻し、スキャナーカバーを閉じます。タイヤを交換するには、以下の手順に従います。
6. タイヤを軸から外し、各タイヤを交換します。
7. 新しいタイヤを軽く引き伸ばしながら軸に取り付けます。

   重要：タイヤを引き伸ばし過ぎないでください。ちぎれる場合があります。

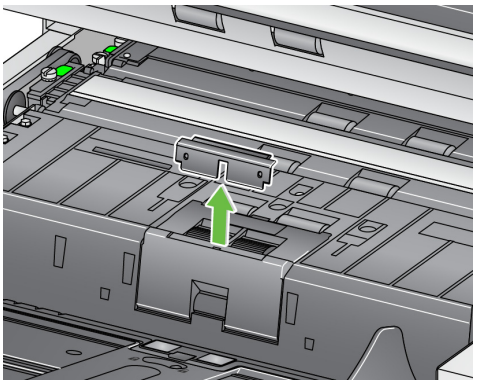
8. セパレーションローラを取り付けます。セパレーションローラの溝とホルダの位置を合わせてください。
9. ローラーカバーをゆっくりと元に戻します。
10. スキャナーカバーを閉めます。

プリセパレーションパッドの交換手順

原稿の重送の頻度が増えてきた場合は、プリセパレーションパッドを交換してください。

1. スキャナーの電源を切ります。
2. スキャナーカバーを開きます。
3. プリセパレーションパッドを所定の位置から持ち上げて取り外します。

注意： プリセパレーションパッドはぴったりと収まっているため、取り外しには多少、力が必要な場合があります。



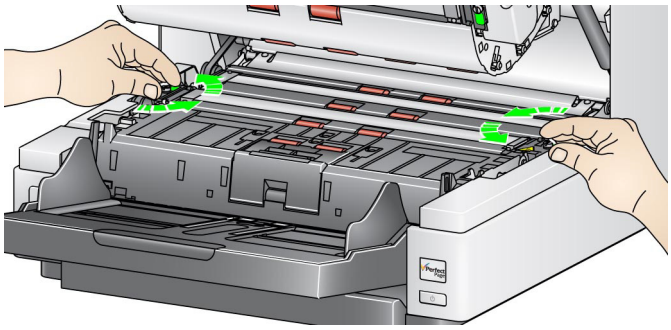
4. 新しいプリセパレーションパッドを取り付けます。カチッと音がして所定の位置に収まったことを確認してください。
5. スキャナーカバーを閉めます。

イメージングガイドの交換手順

イメージングガイドにひどい傷があり、イメージに異常がみられる場合は、イメージングガイドを交換する必要があります。

1. スキャナーの電源を切ります。
2. スキャナーカバーを開きます。
3. 下部イメージングガイドの両端にあるネジを緩め、イメージングガイドを取り外します。

   注意： イメージングガイドに指紋がつかないようにしてください。



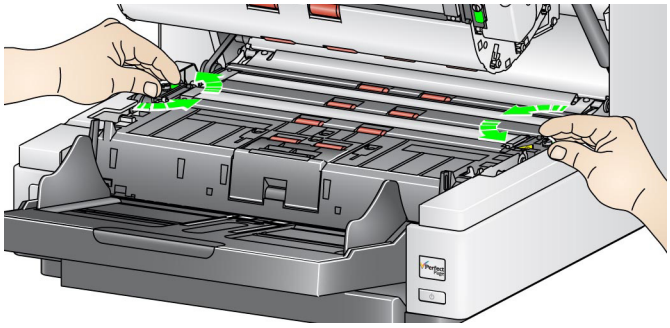
4. 新しいイメージングガイドを取り付け、ネジを締めてイメージングガイドを固定します。
5. ステップ 3 ～ 4 を繰り返して、上部イメージングガイドを交換します。
6. スキャナーカバーを閉めます。

フリップ型ホワイトバックグラウンドストリップの交換方法

フリップ型ホワイトバックグラウンドストリップの交換方法については以下の手順を参照してください。

1. スキャナーの電源を切ります。
2. スキャナーカバーを開きます。

3. 下部バックグラウンドストリップの両端にあるネジを緩め、バックグラウンドストリップを取り外します。



4. バックグラウンドストリップ のコネクタを取り外します。
5. 新しいバックグラウンドストリップ コネクタ をケーブルで接続します。しっかりと取り付けられていることを確認してください。
6. 新しいバックグラウンドストリップを取り付けて、両端にあるネジを締めます。
7. 上部のバックグラウンドストリップを交換するには同様にステップ 3 ～ 6 を繰り返してください。
8. スキャナーカバーを閉めます。

消耗品

品名とカタログ番号は、変更される場合があります。消耗品を注文するには、最寄りのスキャナー販売代理店に連絡してください。

消耗品	カタログ番号
フィーダ交換キット	832 7538
Kodak フィーダ交換キット ラージパック（特大）	838 7938
Kodak フィーダ交換キットシリーズスキャナー（特大）	146 2415
Kodak イメージングガイドセット	871 4438
Kodak フリッパブルホワイトバックグラウンド	161 2605
Kodak デジタルサイエンストランスポートクリーニングシート（50 枚入り）	169 0783
Kodak ローラクリーニングパッド（24 枚入り）	100 2716
Kodak 静電クリーニングクロス（144 枚入り）	896 5519
Kodak スキャナー用イメージングガイド クリーニング セット	826 6488
インクブロッタ	840 5425
大容量インクカートリッジ 黒	818 3386
大容量インクカートリッジ 赤	159 6832
アクセサリ	
66.04 cm (26 インチ) 延長トレイ（1 個 / ボックス）	183 3946
76.2 cm (30 インチ) 延長トレイ（1 個 / ボックス）	162 6803
86.36 cm (34 インチ) 延長トレイ（1 個 / ボックス）	149 8476
薄紙専用フィーダ キット	844 5280
プリンタアクセサリ	121 8940
Kodak A3 フラットベッドユニット	189 4351

* 国によっては、ご利用いただけない場合もあります。

6 トラブルシューティング

インジケータライト

赤色の点灯から緑色で点滅 — スキャナーが起動中です。

緑色で点灯：スキャナーが動作中、一時停止、または待機中です。

緑色で速く点滅：スキャナーがファームウェアをダウンロードしています。

緑色でゆっくり点滅：スキャナーは省電力モードです。

赤で点灯：スキャナーカバーが開いているなど、スキャナーのエラーを示します。

スキャナーが起動すると、赤と緑のインジケータライトが点滅します。約 14 秒後に、両方のライトが消灯します。緑のインジケータ ライトが再び点灯すると、スキャンの準備が完了したことになります。ただし、ホストコンピュータがスキャナーを検出するまで、数分かかる場合があります。

ソフトウェアのアップグレード

Kodak Alaris では問題の修正と新機能の追加のため、ドライバとファームウェアを頻繁にアップデートしています。エラーが発生したら、サービスセンタに連絡する前に、最新のドライバにアップグレードしてください。

次の URL : www.AlarisWorld.com/go/support で、**i4x50 のソフトウェアとドライバ**にアクセスして、最新のアップグレードをダウンロードしてください。

サービスセンターへの問い合わせ

1. www.AlarisWorld.com/go/contactus にアクセスして、お住まいの国の最新の電話番号を入手してください。
2. お電話の際は、次の情報をご用意ください。
   - 問題の内容
   - スキャナーのモデルとシリアル番号
   - コンピュータの構成
   - お使いのスキャンアプリケーション

付録 A 規制に関する情報

注記

このセクションの未翻訳の情報は、これらの地域のお客様にのみ適用されます。

EMC 声明

米国：この装置は、FCC 規則の Part 15 に従った Class B デジタル装置に対する制限に適合していることが検査され、証明されています。これらの制限は、個人の住宅に取り付けた場合に、有害な干渉から適切に保護することをその目的としています。本製品は高周波エネルギーを発生させ、使用し、また放射することもあります。取扱説明書に従って設置および使用されない場合は、無線通信に有害な障害をもたらす可能性があります。ただし、特定の設置条件で、干渉が起こらないという保証はありません。この装置がラジオやテレビの受信を妨害している場合（装置をオン / オフにして確認）は、以下の方法をいくつか試して問題を修正することをお勧めします。

- 受信アンテナの方向を変えるか、位置を変える
- 装置と受信機との距離を広げる
- 受信機を接続している回路とは別の回路のコンセントに装置を接続する
- 取扱店または信頼できるラジオ / テレビ関係の技術者に問い合わせる

法令遵守に責任のある当事者により明示的に承認されていない変更または修正を行うと、装置を操作する権限が無効になる場合があります。製品に被覆インタフェースケーブルが同梱されている場合、または製品を設置する際に被覆インタフェースケーブルを追加コンポーネント / アクセサリとして使用するように指定されている場合は、FCC 規制に準拠するためにそれらのケーブルを使用する必要があります。

韓国：本製品は事務機器に使用されます。家庭環境で使用する場合、電磁波の干渉を引き起こす可能性があります。

이 기기는 업무용으로 전자파적합등록을 한 기기이오니 판매자
또는 사용자는 이점을 주의하시기 바라며, 만약 잘못 판매 또는
구입하였을 때에는 가정용으로 교환하시기 바랍니다.

日本：この装置は、クラス B 機器です。この装置を住宅環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

この装置は、クラスB機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI - B

台湾：

設備名稱：掃描器 Equipment name						，型號（型式）：Kodak i4250 Scanner / Kodak i4650 Scanner / Type designation (Type) Kodak i4850 Scanner
單元Unit	限用物質及其化學符號 Restricted substances and their chemical symbols					
	鉛 Lead (Pb)	汞 Mercury (Hg)	鎘 Cadmium (Cd)	六價鉻 Hexavalent chromium (Cr^{+6})	多溴聯苯 Polybrominated biphenyls (PBB)	多溴二苯醚 Polybrominated diphenyl ethers (PBDE)
輸入 / 輸出托盤 Input/ Output Trays	○	○	○	○	○	○
塑料蓋和零件 Plastic Covers and parts	○	○	○	○	○	○
控制面板 Control Panel	○	○	○	○	○	○
傳感器 Sensors	○	○	○	○	○	○
進料和分離模塊/輥筒 Feed and Separation Modules / Rollers	○	○	○	○	○	○
紙張傳感器 Paper Sensors	○	○	○	○	○	○
端口 Ports	○	○	○	○	○	○
打印機附件 Printer Accessory	○	○	○	○	○	○
電線 Line cord	—	○	○	○	○	○
USB 數據線 USB cable	—	○	○	○	○	○
電源 Power supply	—	○	○	○	○	○
鎖釘 Locking pin	—	○	○	○	○	○
彈簧 Spring	—	○	○	○	○	○

備考1. 〝超出0.1 wt %〞及 〝超出0.01 wt %〞係指限用物質之百分比含量超出百分比含量基準值。

Note 1：“Exceeding 0.1 wt %” and “exceeding 0.01 wt %” indicate that the percentage content of the restricted substance exceeds the reference percentage value of presence condition.

備考2. 〝○〞係指該項限用物質之百分比含量未超出百分比含量基準值。

Note 2：“ ○ ” indicates that the percentage content of the restricted substance does not exceed the percentage of reference value of presence.

備考3. 〝—〞係指該項限用物質爲排除項目。

Note 3：The “–” indicates that the restricted substance corresponds to the exemption.

付録 B 保証 - 米国、カナダ限定

Kodak スキャナーをご購入いただきありがとうございます。*Kodak* スキャナーは、お客様に最高レベルのパフォーマンスと信頼性をお届けします。すべての *Kodak* スキャナーは次の限定保証の対象となります。

***Kodak* スキャナーの限定保証**

Kodak Alaris 社は、Kodak Alaris または Kodak Alaris 認定販売チャネルを通じて販売された、*Kodak* スキャナー（スペア部品および消耗品を除く）に次の限定保証を適用します。

Kodak Alaris 社は、販売時から製品に適用される限定保証期間内において、*Kodak* スキャナーの材料および製造上の欠陥がなく、特定の *Kodak* スキャナーに該当するパフォーマンス仕様に準拠することを保証します。

すべての *Kodak* スキャナーには以下の保証除外の対象となります。欠陥がある、または製品仕様に準拠していない *Kodak* スキャナーは、Kodak Alaris の判断により、修理、新製品または代替製品と交換いたします。

購入者は、www.AlarisWorld.com/go/imsupport にアクセスするか、*Kodak* スキャナーに同梱されている限定保証概要カードをお読みになり、購入した Alaris スキャナーに適用される限定保証期間を確認できます。

保証によるサービスを受けるには、購入を証明する書類が必要となります。

保証の除外

Kodak Alaris の限定保証は、災害、事故、不可抗力、輸送などの原因によって、購入後に Kodak スキャナーがこうむった物理的損害には適用されません。これには、次の場合が含まれます。(a) 保証サービスのために Kodak Alaris にスキャナーを送り返す際に、その時点で有効な Kodak Alaris の梱包材と輸送のガイドラインに従ってスキャナーを適切に梱包および輸送しなかったために損害が生じた（発送前に梱包材を交換しなかった、または使用前に梱包材を取り外さなかった場合を含む）。(b) ユーザーのオペレーティングシステムまたはアプリケーションソフトウェアのインストール、システム統合、プログラミング、または再インストール、システムエンジニアリング、移動、データの再構築、製品またはコンポーネントの取り外し（コネクタ、カバー、ガラス、ピン、トレイ、シールの破損を含む）によって損害が生じた。(c) Kodak Alaris、または Kodak Alaris の正規修理店以外によって保守、変更、または修理が行われた、または、製品の改造、Kodak Alaris 製品の模造コンポーネントや Kodak Alaris 社製以外のコンポーネント、アセンブリ、アクセサリ、モジュールの使用によって損害が生じた。(d) 誤用、妥当な範囲外の製品の扱いやメンテナンス、手荒な扱い、使用者の誤動作、適切な監督やメンテナンスを行わなかった（Kodak Alaris の承認しない清掃用品やその他のアクセサリの使用や、推奨されている手順や仕様に従わない使用を含む）ことによって損害が生じた。(e) 環境的な条件（過度な高温や、その他の不適切な物理的稼働環境）、腐食、しみ、製品外での電気配線、静電気放電（ESD）保護を行わなかったことによって損害が生じた。(f) 製品に対して提供されているファームウェアのアップデートやリリースをインストールしなかったために損害が生じた。(g) その他の随時追加される除外項目（オンライン www.AlarisWorld.com/go/support で確認可能）によって損害が生じた。

Kodak Alaris では、米国およびカナダ以外の国で購入された製品に対しては、限定保証を提供していません。米国外の流通経路から製品を購入した場合は、購入元によって保証が行われます（該当する場合）。

Kodak Alaris では、サードパーティの製品、コンピュータシステム、またはその他の電子機器の一部として購入された製品に対しては、限定保証を行いません。

これらの製品に対する保証は、OEM（Original Equipment Manufacturer）により、このメーカーの製品やシステムの一部として提供されます。

製品を交換した場合の限定保証の期間は、欠陥のあった元の製品に適用される期間の残り日数または 30 日間のいずれか長い方となります。

設置に関する警告と免責事項

Kodak Alaris では、原因のいかんを問わず、この製品の販売、設置、使用、修理、または機能障害に起因する結果的または偶発的な損害について、いかなる責任も負いません。これらの Kodak Alaris が保証責任をもたない損害には、収入や利益の損失、データの損失、ダウンタイムの費用、製品の使用の損失、代替製品のコスト、設備やサービス、および顧客によるこれらの損害に対する要求を含み、またこれらに限られたものではありません。

この付録の条項と、限定保証の条項間に矛盾がある場合は、限定責任の条項が優先されます。

限定保証によるサービスを受けるには

Kodak スキャナーには、開梱、セットアップ、設置、操作に関する情報が付属しています。ユーザーズガイドを注意して読むことで、製品の適切な設置、操作、メンテナンスに関し、ほとんどの技術的情報が得られます。ただし、ユーザーズガイドを参照しても別途技術サポートが必要な場合は、当社の Web サイト（www.AlarisWorld.com/go/imsupport にアクセスしていただくか、以下にお問い合わせください。Kodak Alaris サポートセンター：**(800) 822-1414**

サポートセンターは、当社の休日を除く月曜日から金曜日の午前 8 時から午後 5 時まで営業しています。

お問い合わせになる前に、該当する購入者は *Kodak* スキャナーのモデル番号、パーツ番号、シリアル番号、購入を証明できるものをご用意ください。また、問題について説明できるように、情報を整理しておいてください。

サポートセンターの担当者は、ユーザーが問題を解決できるように、電話でサポートします。場合によっては、いくつかの簡単な自己診断テストを実行して、結果のステータスやエラーコードのメッセージを伝えるように求められることがあります。これは、問題が *Kodak* スキャナーにあるかまたは別のコンポーネントにあるのか、問題を電話で解決できるか、サポートセンターでの判断に役立てるためです。サポートセンターが、ハードウェア障害が限定保証や購入されたサービス保守契約の範囲であると判断する場合は、必要に応じて RMA 番号（返品認証番号）が発行されます。その後、サービスのリクエストが発行され、修理または交換が行われます。

梱包と輸送のガイドライン

購入者は、保証が適用される製品を返送する場合、製品が輸送中に損傷しないように、十分な梱包を行ってください。梱包が十分でなかった場合、*Kodak* スキャナー保証が無効になります。製品の保管や輸送のために、元の箱や梱包を保管しておくことをお勧めします。Kodak Alaris では、輸送中の損傷に関連する問題については責任を負いません。購入者は *Kodak* スキャナーのみを返品してください。発送の前に、すべての追加の品目（アダプタ、ケーブル、ソフトウェア、マニュアルなど）を取り外して、保管しておいてください。Kodak Alaris はこれらの品目について責任を負わず、修理または交換した *Kodak* スキャナーと一緒に返送されません。すべての製品は、元の梱包、または返品するユニットに対して承認された梱包を使用して、Kodak Alaris に返送してください。購入者は *Kodak* スキャナーを発送する前に、梱包材を取り付けてください。元の梱包がない場合は、Kodak Alaris のサポートセンター（電話：800-822-1414）に、新しい梱包用品のパーツ番号と注文方法を問い合わせてください。

返送の手順

本限定保証の対象となる *Kodak* スキャナーのサービスを受けられる購入者は、(800) 822-1414 に連絡して返品認証番号（RMA）を取得し、RMA の発行から 10 営業日以内に Kodak Alaris の現行の梱包と輸送のガイドラインに従い、*Kodak* スキャナーをエンドユーザーの送料および保険料負担で RMA が指定する宛先まで発送するものとします。

Kodak Alaris が交換した欠陥のある製品や部品は、Kodak Alaris の所有となります。

お客様の責任

サービスの要求を行うことによって、限定保証の対象となる購入者は、限定保証の条件（断り書きと限定保証の条項を含む）に合意したものとみなされます。サービスを受けるまえに、ユーザーは損傷を受ける、または損失される恐れのあるデータやファイルをすべてバックアップしてください。Kodak Alaris では、失われた、または損傷を受けたデータやファイルに対し、何ら責任を負いません。

保証サービスの説明

Kodak Alaris は限定保証をサポートし、*Kodak* スキャナーの使用および取り扱い（サービス方法）を支援する、様々なサービスプログラムを提供しています。*Kodak* スキャナーは重要な投資です。*Kodak* スキャナーは、競争力を維持するために必要な生産性を発揮します。たとえ一時的であっても、この生産性を失うと、ビジネスに支障が生じる場合があります。ダウンタイムは修理費だけでなく、時間を失ったという意味でも、非常に高額なものになりえます。これらの問題を避けるために、Kodak Alaris では限定保証の遂行にあたり、製品タイプによって以下にあげるサービス方法のいずれかを使用します。

選択した *Kodak* スキャナーには限定保証登録カードと限定保証概要カードが付属しています。このカードは、モデルごとに異なります。限定保証の概要カードには、モデル番号と限定保証を含む、重要な保証に関する情報が記載されています。特定の *Kodak* スキャナーに適用されるサービス方法を判断するには、限定保証概要カードを参照してください。

限定保証登録カード、または限定保証概要カードが見つからない場合、製品に関する追加情報（最新の保証や、サービスプログラムに関する情報および制限を含む）は、オンライン（www.AlarisWorld.com/go/support）で入手できます。

サービスの遅延を避けるために、限定保証登録カードをできるだけ早く返送してください。限定保証登録カードが見当たらない場合は、オンライン（www.AlarisWorld.com/go/support）で登録できます。

Kodak Alaris はまた、*Kodak* スキャナーの使用と取り扱いを支援するために購入できるサービスプログラムも提供しています。

Kodak Alaris では、限定保証によってお客様に、品質、パフォーマンス、信頼性、そしてサービスをお届けするべく努力しています。

当社は、製造終了後、最低 5 年間はスペア部品と消耗品を供給いたします。

出張サービス

選択した *Kodak* スキャナーに対して、サポートセンターがハードウェアの問題を確認した場合、サービスコールが作成され、記録されます。製品がアメリカ合衆国の 48 州、またはアラスカとハワイの一部の地域にあり、技術者がスキャナにアクセスするにあたってセキュリティ上、安全上、または物理的な制限のない場合は、Kodak Alaris の技術者が製品のある場所に派遣されて、修理が行われます。サービスが提供されている地域の詳細については、当社の Web サイト（www.AlarisWorld.com/go/support）を参照してください。出張サービスは、休日を除く、月曜日から金曜日までの現地時間で午前 8 時から午後 5 時の間に実施されています。

AUR（アドバンスユニット交換）

AUR は、業界で提供されているサービスの中で、もっとも簡単で、包括的なものといえるでしょう。万が一製品に欠陥があった場合、特定の *Kodak* スキャナーの該当する購入者に対し、Kodak Alaris は 2 営業日以内に製品を交換します。

AUR では特定の障害または破損のある *Kodak* スキャナーについて、事前に交換を行います。AUR を利用するには、対象となる購入者は RMA 番号を取得し、アドバンス交換合意書に署名し、交換用製品を確保するためのクレジットカードへの課金に了承します。RMA 番号は、交換のための製品を確認しなければならない場合のために、大切に保管してください。対象となる購入者は、交換のための製品の郵送先住所を尋ねられます。また、故障した製品の返品のために、梱包と発送に関する指示がファックスで送信されます。サービスのリクエストが始まり、Kodak Alaris が署名された合意書を受け取ってから 2 営業日以内に、交換用の製品が届けられます。故障した製品は、ユーザーが交換用製品を受け取ってから 10 日以内に Kodak Alaris に届けられる必要があります。この期日を過ぎると、交換用製品の標準価格がユーザーのクレジットカードに課金されます。交換用製品の発送にあたっては、Kodak Alaris が送料を負担し、輸送手段を選択します。Kodak Alaris の指示や、Kodak Alaris が希望する輸送業者以外を使って発送が行われた場合、限定保証は無効になることがあります。

製品を Kodak Alaris に返送する前に、限定保証で対象外のすべてのオプションやアクセサリ（電源コードやマニュアルを含む）を取り外してください。故障した製品の返送には、交換用製品に使われていた箱と梱包を使用してください。故障した製品が、交換用製品に使われていた箱と梱包で返送されなかった場合、限定保証は無効になることがあります。故障した製品が適切に受理されるように、RMA（Return Material Authorization）番号を箱の外側にはっきりと書いてください。

デポサービス

Kodak スキャナーが AUR またはオンサイトサービスの対象外の場合、該当する購入者はディーポ修理サービスを利用できます。対象となる購入者は、最寄の正規デポ修理センターに製品を送るように指示されます。修理センターまでの輸送の費用は購入者が負担し、輸送中の破損などについては購入者が責任を持つものとします。製品を修理センターに返送する前に、限定保証で対象外のすべてのオプションやアクセサリ（電源コードやマニュアルを含む）を取り外してください。すべての製品は、元の梱包、または推奨されている梱包箱を使用して、Kodak Alaris に返送してください。*Kodak* スキャナーは、発送前に梱包材を取り付けてください。元の梱包がない場合は、Kodak Alaris のサポートセンター（電話：800-822-1414）に、新しい梱包資材の注文方法を問い合わせてください。*Kodak* スキャナーのサービスを受けられる購入者は、(800) 822-1414 に連絡して返品認証番号（「RMA」）を取得し、RMA の発行から 10 営業日以内に Kodak の現行の梱包と輸送のガイドラインに従い、*Kodak* スキャナーをエンドユーザーの送料および保険料負担で RMA が指定する宛先まで発送するものとします。故障した製品が適切に受理されるように、RMA（Return Material Authorization）番号を箱の外側にはっきりと書いてください。

製品の受理後、修理センターは製品を 10 営業日以内に修理します。修理された製品は、2 日以内に配送されるエクスプレス便で購入者に返送されます。購入者はこの送料を負担する必要はありません。

重要な制限

資格：アドバンス交換プログラムおよびディーポサービスは米国 50 州の該当する購入者が利用でき、オンサイトサービスは隣接した 48 州、アラスカおよびハワイの特定の領域で Kodak Alaris の認定ディストリビュータから購入した製品に対して利用できます。*Kodak* スキャナーは、購入者が Kodak Alaris のその時点で有効な梱包および発送のガイドラインに従って欠陥のある製品を返送しなかった場合など、製品が Kodak Alaris のその時点で有効な保証除外規定を満たさない場合、保証内のいかなるサービスも受けられません。購入者は、*Kodak* スキャナーを個人またはビジネス目的で購入し、再販目的ではない場合に「該当する購入者」または「エンドユーザー」とみなされます。

消耗品：消耗品は、通常の使用において消費され、必要に応じてエンドユーザーによって交換される品目です。消耗品や備品、および、ユーザーズガイドでユーザーの責任であると述べられているアイテムは、限定保証の対象とはなりません。

Kodak Alaris が交換した欠陥のある製品や部品は、Kodak Alaris の所有となります。

Kodak Alaris へのお問い合わせ

Kodak スキャナーに関する情報：

Web サイト：www.AlarisWorld.com

米国内の電話によるサービス、修理、技術サポート

電話によるテクニカルサポートは、当社の休日を除く月曜日から金曜日まで、午前 5 時から午後 5 時まで営業しています。
電話：(800) 822-1414

技術文書と FAQ（24 時間利用可能）：

Web サイト：www.AlarisWorld.com/go/support

サービスプログラム情報：

Web サイト：www.AlarisWorld.com
電話：(800) 822-1414

Kodak alaris

使用されているすべての商標および商品名は、各権利保持者の所有物です。

コダック社の商標及びトレードドレスはイーストマンコダック社ののもとに使用されます。

© 2022 Kodak Alaris Inc.
TM/MC/MR: Alaris
04/22